brother

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

ネットワーク設定ガイド

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ネットワーク設定について困ったときは

第14章 困ったときは（トラブル対処方法）

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

サポート ブラザー　検索

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version B

目　次

本書の見かた

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

液晶ディスプレイモデルとタッチパネルモデルについて

本書では、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えているモデルのことをタッチパネルモデル（MFC-930CDN/930CDWN/6890CN）、それ以外を液晶ディスプレイモデル（DCP-535CN、MFC-490CN/5890CN/6490CN）と記載しています。

イラストについて

外観イラストは MFC-6490CN を代表で使用しています。
操作パネルのボタンのイラストは、液晶ディスプレイモデルでは MFC-6490CN を、タッチパネルモデルでは MFC-930CDN を使用しています。モデル特有の機能の場合は、該当モデルのボタンのイラストを使用しています。
お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

商標について

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、iBook は、Apple Inc. の登録商標です。
Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
Wi-Fi、WPA は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ネットワークの概要

本製品のネットワークインターフェースを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本製品で原稿のスキャンや印刷ができます。
本製品は、IEEE802.11b/g 無線ネットワークに対応し、無線認証およびセキュリティを使用したインフラストラクチャ通信またはアドホック通信で動作します。
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェースの設定ができます。
本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

ネットワークプリンタ機能

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
本製品のネットワークインターフェースは TCP/IP に対応しています。TCP/IP の印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンへ直接保存できます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

ネットワーク PC-FAX 受信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®）
受信したファクスを、本製品とネットワーク接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

ネットワークリモートセットアップ機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
本製品の設定をパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集することができます。

ネットワークメディアカードアクセス機能

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
本製品に挿入したメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）にネットワーク経由でアクセスできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Light

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®、Mac OS X 10.2.4 以降）
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用すると、本製品のネットワークインターフェースの設定が簡単にできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Professional

（Windows® 2000/XP/Windows Vista®）

BRAdmin Professional を使用すると、ブラザー製品のネットワークインターフェースや PC-FAX 送信時に使用する電話帳の設定をまとめて管理できます。BRAdmin Professional は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

インターネットファクス / スキャン to E メールサーバ

（MFC-6490CN/6890CN）

メールサーバへ接続できる環境で、本製品に IP アドレスと E メールアドレスが設定されていれば、ネットワークを通じてインターネットファクスや E メールを送受信できます。ご利用の前に、本製品のネットワークおよびメールサーバの設定をしておく必要があります。

無線 LAN 機器使用の際のご注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

メモ　本製品の設置場所によって、最大 70 メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

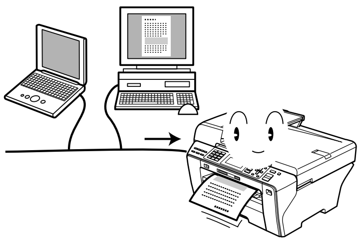
「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「**---**」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

やりたいこと目次

ネットワークプリンタとして使う

本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

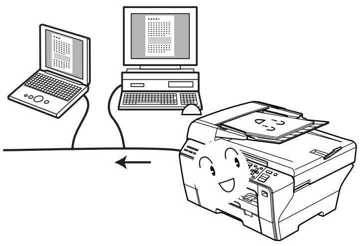
- **Windows®** の場合 P.4-2
- **Macintosh** の場合 P.10-2



ネットワークスキャナとして使う

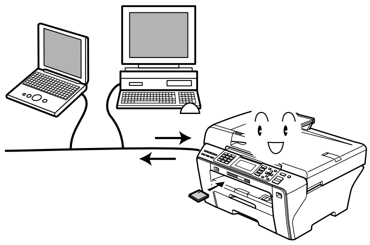
本製品をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

- **Windows®** の場合 P.5-1
- **Macintosh** の場合は、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。



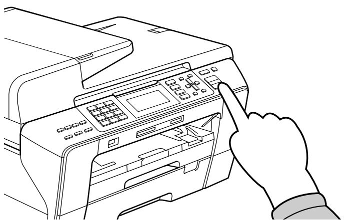
ネットワークでメディアを利用する [ネットワークメディアカードアクセス]

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスできます。
詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。



操作パネルを使ってネットワークの設定をする

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。
P.2-2

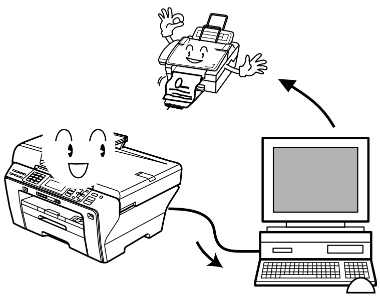


ネットワーク PC-FAX を使う（MFC モデルのみ）

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを印刷せずに送信できます。

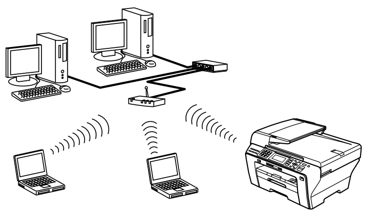
- **Windows®** の場合 P.6-1
- **Macintosh** の場合 P.11-1

ネットワーク PC-FAX 受信機能については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。



無線 LAN を使う（無線 LAN 対応モデルのみ）

LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。
P.3-1



BRAdmin Light を使って本製品を管理する

付属のソフトウェア　**BRAdmin Light** を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

- **Windows®** の場合 P.9-1
- **Macintosh** の場合 P.13-1

ネットワークリモートセットアップ（MFC モデルのみ）

本製品にネットワーク経由でアクセスして、各種設定を変更できます。

- **Windows®** の場合 P.8-1
- **Macintosh** の場合 P.12-1

はじめに

第 1 章 ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
手動でインストールする場合は、以下の手順で行います。

ネットワーク接続方法を決める

↓ お使いの環境に合わせて本製品をどのように接続するかを決めます。P.1-3

IPアドレスを決める

↓ 本製品に割り当てるIP アドレスを決めます。P.1-6

本製品とパソコンをLANケーブルで接続する

↓ 接続方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

ネットワークの設定を行う

↓ 操作パネルを使用して、本製品をネットワーク上で利用できるようにIP アドレスなどを設定します。P.2-2

パソコンにプリンタドライバをインストール、ポートを追加する

ネットワークの接続方法を決める

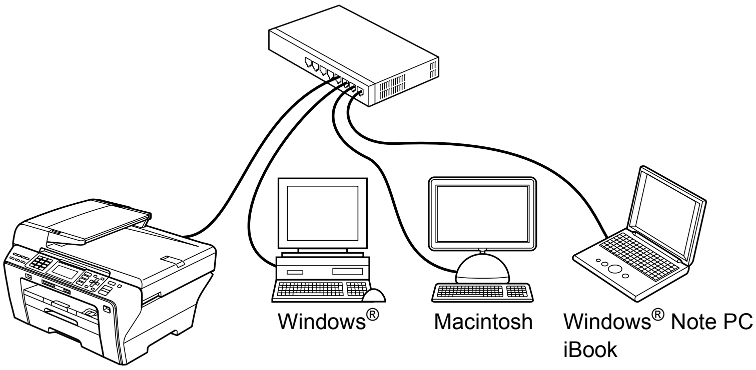
ネットワークプリンタを接続する場合、各コンピュータからブロードバンドルータやハブを通じて直接本製品を使用する「ピアツーピア接続」と、本製品に接続しているコンピュータを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。

メモ
本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

有線 LAN の場合

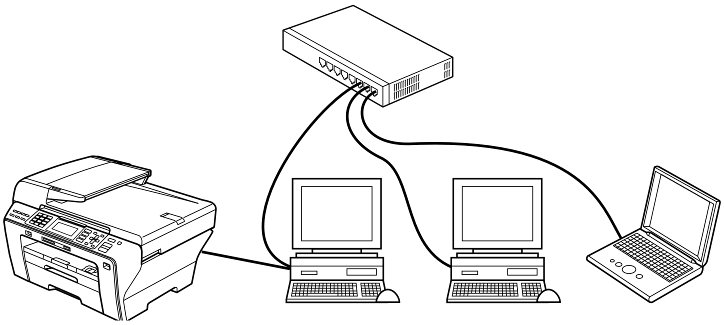
ピアツーピア接続

各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。



ネットワーク共有

プリンタに直接接続されているパソコンにのみプリンタポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンも本製品を共有します。ただし、本製品に接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンは本製品を使用できません。



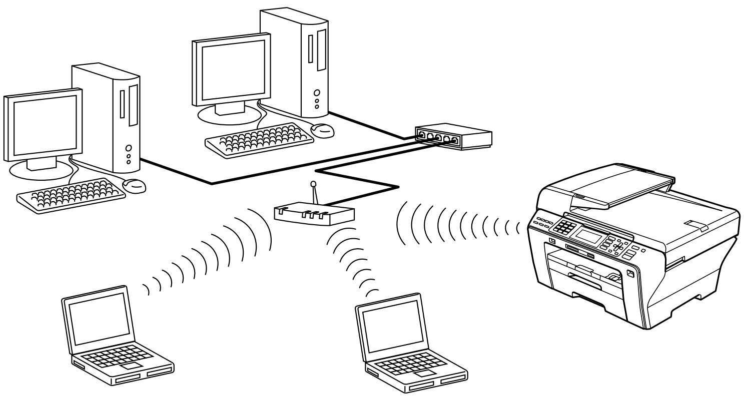
メモ
ネットワーク共有の方法については Windows® の共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

無線 LAN の場合

無線 LAN には、インフラストラクチャ通信とアドホック通信の 2 つのタイプがあります。

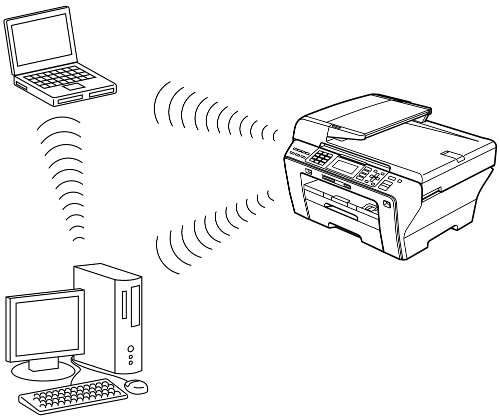
インフラストラクチャ通信
（推奨：本ガイドでは、インフラストラクチャ通信による設定について説明しています。）

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置され、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。



アドホック通信

アドホック通信のネットワークでは、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷を直接受け取ります。



メモ
- アドホック通信は、機器間のみで通信を行います。インターネットをご利用の場合は、インフラストラクチャ通信を行う必要があります。
- アドホック通信を行うための設定は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

本製品の他に準備するのは、LAN ケーブル（ストレートケーブル）です。複数のパソコンを接続する場合は、ハブまたはハブ機能を内蔵するルータを準備してください。

LAN ケーブル

本製品とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。LAN ケーブルにはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルはルータとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

メモ 無線 LAN をご利用の場合でも、無線対応していないパソコンとネットワーク接続するときは、LAN ケーブルが必要です。この場合、パソコンと無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続してください。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。

ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能などを持っている機器もあります。

メモ
- 無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルータ）または無線 LAN 対応のパソコンが必要です。
- ルータにハブ機能が内蔵されている場合は、別途準備する必要はありません。

IP アドレスを決める

● IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 (ノード) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「. (ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	**IP アドレス**
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、

192.168.　1.　3

ネットワークアドレス部（192.168.　1.）　ホストアドレス部（3）

という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。

メモ
予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

IP アドレス配布サーバを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのルータは、この機能を持っています。

IP アドレス配布サーバを利用していない場合

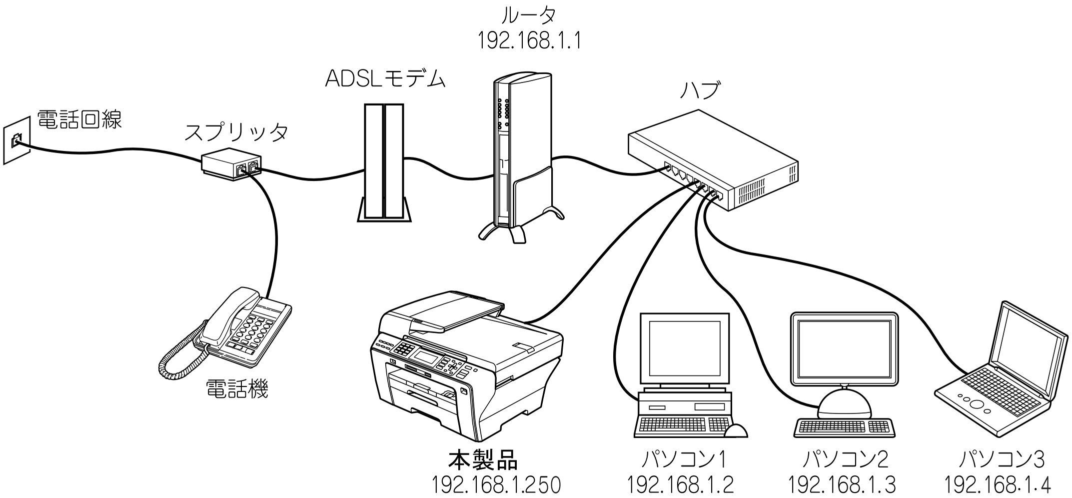
DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本製品の操作パネルを使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1.　1	255.255.255.0
本製品	192.168.1.250	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.　2	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.　3	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.　4	255.255.255.0



メモ

ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

ネットワーク内にルータがあるときは
ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DHCP 環境でお使いの場合
ルータには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルータの DHCP 機能を無効にするか、本製品の IP アドレス取得方法を「static」にしてください。「IP 取得方法」P.2-6
ルータについては「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

現在の IP アドレスを調べるときは、「ネットワーク 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25をご覧ください。

ネットワークの設定

第 2 章 有線 LAN の設定をする

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイまたはタッチパネル（MFC-930CDN/930CDWN/6890CN での名称※ 1）から構成されています。この章では、操作パネルやタッチパネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

※ 1　MFC-930CDN/930CDWN/6890CN は、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えています。このネットワーク設定ガイドではこれらのモデルのことをタッチパネルモデルまたそれ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

ボタンと液晶ディスプレイ / タッチパネル

パソコンから操作しなくても、操作パネルやタッチパネルのボタンを使って本製品のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイまたはタッチパネルには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定できる項目

本製品の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。この章では、有線 LAN の設定に関するメニューについて説明します。

メニュー名と項目名				参照先
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	P.2-6
			IP アドレス	P.2-7
			サブネットマスク	P.2-8
			ゲートウェイ	P.2-9
			ノード名	P.2-11
			WINS 設定	P.2-13
			WINS サーバ	P.2-14
			DNS サーバ	P.2-16
			APIPA	P.2-18
			IPv6　※ 1	P.2-20
		イーサネット		P.2-22
	無線 LAN　※ 2	TCP/IP	IP 取得方法	3 章へ
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			ノード名	
			WINS 設定	
			WINS サーバ	
			DNS サーバ	
			APIPA	
			IPv6　※ 1	
		無線接続ウィザード		
		WPS/AOSS		
		WPS（PIN コード）		
		無線状態	接続状態	
			電波状態	
			SSID	
			通信モード	

メニュー名と項目名				参照先
ネットワーク	E メール /IFAX ※ 3	メールアドレス		P.2-26
		サーバ設定	SMTP サーバ	P.2-28
			SMTP ポート	P.2-30
			SMTP Auth.	P.2-32
			POP3 サーバ	P.2-34
			POP3 ポート	P.2-36
			アカウント名	P.2-38
			パスワード	P.2-39
			APOP	P.2-41
		メール受信設定	自動受信	P.2-42
			ポーリング間隔	P.2-43
			ヘッダ印刷	P.2-45
			エラーメール削除	P.2-46
			受信確認	P.2-47
		メール送信設定	メールタイトル	P.2-48
			サイズ制限	P.2-50
			受信確認要求	P.2-51
		リレー設定	リレー許可	P.2-52
			許可ドメイン	P.2-54
			リレーレポート	P.2-56
	スキャン to FTP ※ 1	パッシブモード		P.2-57
		ポート番号		P.2-58
		オリジナルファイル名 1		P.2-59
		オリジナルファイル名 2		
		FTP プロファイル設定	プロファイル名 1	P.2-60
			プロファイル名 2	
			プロファイル名 3	
			プロファイル名 4	
			プロファイル名 5	
	タイムゾーン　※ 3			P.2-67
	有線 / 無線切替え ※ 2			P.2-23
	ネットワーク設定リセット			P.2-24

※ 1　MFC-5890CN/6490CN/6890CN で表示されます。
※ 2　MFC-5890CN では表示されません。
※ 3　MFC-6490CN/6890CN で表示されます。

メモ
付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。
Windows® の場合 P.9-1
Macintosh の場合 P.13-1

操作パネルから数字・文字を入力する方法

- 型番の先頭に「MFC」がついている機種の場合（タッチパネルモデルを除く）

  0 ～ 9 のダイヤルボタンで入力します。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合

  ▲/▼ で入力したい値を選びます。▶ を押すと、カーソルが右に、◀ を押すとカーソルが左に移動します。

タッチパネルから数字・文字を入力する方法

タッチパネルモデルの場合は、画面に表示されている 0 ～ 9 のテンキーやキーボードで入力します。

- キーボードで入力する方法
  文字の種類は、あ|ア|A|1|@ を押して切り替えます。押すたびに、ひらがな→カタカナ→英字→数字→記号の順で切り替わります。

  目的の文字記号キーを押して入力します。文字記号キーには以下の文字が割り当てられています。複数の文字が割り当てられているキーは、キーを押すたびに文字が切り替わります。
  ー ひらがな／カタカナ : キーに表示されている文字行の文字
  ー 英字 : キーに表示されている文字の大文字と小文字
  ー 数字／記号 : キーに表示されている文字

メモ **スペースは、␣^_ に割り当てられています。**

入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。
- 変換 : ひらがなを漢字に変換します。
- 確定 : 入力した文字を確定します。
- 一字消去 : 選択中の文字を消去します。◀を押して削除したい文字までカーソルを移動し 一字消去 を押します。
- ◀ ▶ : カーソルを左右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、▶ を押します。

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本製品が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。
- DHCP、BOOTP 機能を使用している場合は、TCP/IP の各項目は自動的に設定されるので、設定は不要です。「IP 取得方法」P.2-6 を参照して、「IP 取得方法」を「手動（static（固定））」に設定します。

このメニューは以下の項目で構成されています。

- **IP** 取得方法
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**
- **IPv6 (MFC-5890CN/6490CN/6890CN)**

TCP/IP を設定する他の方法
- BRAdmin Light を使用する場合は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.9-1 をご覧ください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「IP アドレスの設定方法」P.15-2 をご覧ください。

設定の変更は、MFC モデルのみリモートセットアップでも行うことができます。
Windows® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1 、Macintosh の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.12-1 をご覧ください。

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
IP アドレス取得方法が設定されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【IP 取得方法】の順に押します。

2【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
IP アドレス取得方法が設定されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスを変更すると、【IP 取得方法】は自動的に【Static】に変わります。P.2-6
【Static】以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選び、OK を押します。

2 IP アドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【IP アドレス】の順に押します。

2 IP アドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネットマスク】の順に選び、OK を押します。

2 サブネットマスクを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例） 255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【サブネットマスク】の順に押します。

2 サブネットマスクを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルータ）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選び、OK を押します。

2 ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）　192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ゲートウェイ】を押します。

3 ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
お買い上げ時の設定（初期値）は【BRNxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルからノード名を入力・変更することはできません。現在のノード名の確認はできます。
  ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。

メモ
設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1、
Macintosh の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.12-1 をご覧ください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選び、OK を押します。

2 ノード名を入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）　BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ノード名】を押します。

3 ノード名を入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例） BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS 設定

この項目で本製品が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto
DHCP サーバから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバアドレスを取得します。IP アドレスの取得方法が【Auto】に設定されている必要があります。

Static
手動で WINS サーバアドレスを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
WINS 設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS 設定】を押します。

3 【Auto】または【Static】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
WINS 設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にノード名を登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、OK を押します。

3 WINS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
WINS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 WINS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法 P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
WINS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。スキャン E メール機能を使用する場合は必ず設定してください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、OK を押します。

3 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
DNS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【DNS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
DNS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能が【オン】になっていると本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
APIPA の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【APIPA】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
APIPA の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

IPv6（MFC-5890CN/6490CN/6890CN）

本製品はインターネットプロトコル・バージョン 6（IPv6）に対応しています。IPv6 を使用する場合は、【オン】に設定してください。IPv6 での設定方法については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IPv6】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
IPv6 の設定が登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【IPv6】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
IPv6 の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

その他の設定

イーサネット

リンクモードを設定します。

Ethernet リンクモードについて

Auto： 100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。
•100B-FD：100BaseTX Full Duplex
•100B-HD：100BaseTX Half Duplex
•10B-FD：10BaseT Full Duplex
•10B-HD：10BaseT Half Duplex

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【イーサネット】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【Auto】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】または【10B-HD】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
イーサネットの設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【イーサネット】の順に押します。

2 【Auto】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】または【10B-HD】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
イーサネットの設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

有線 / 無線切替え (DCP-535CN、MFC-490CN/6490CN/930CDN/930CDWN/6890CN)

有線 LAN/ 無線 LAN を切り替えます。切り替えた場合は、画面の説明にしたがって、本製品を再起動してください。

メモ
- 本製品では、無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。
- 無線接続の操作（WPS/AOSS[TM] 機能の利用または無線接続ウィザードの開始）を実行すると、自動的に無線 LAN に切り替わります。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【有線 / 無線切替え】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【有線 LAN】です。
設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 【有線 / 無線切替え】を押します。

画面に表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

3 【有線 LAN】または【無線 LAN】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【有線 LAN】です。
設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【ネットワーク設定リセット】の順に選び、OK を押します。

【設定をリセットしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【ネットワーク設定リセット／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます。

2 1 （MFC-XXXX の場合）または ＋ （DCP-XXXX の場合）を押します。

【再起動しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【再起動しますか？／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます。

3 1 （MFC-XXXX の場合）または ＋ （DCP-XXXX の場合）を押します。

数秒後に本製品が再起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押します。

【設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押します。

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。】と表示されます。

4 【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に本製品が再起動します。

ネットワーク設定リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容 (MAC アドレス、ノード名、IP アドレス等）を印刷できます。本製品で現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容が印刷されます。

メモ MAC アドレスは、[ネットワーク設定内容リスト] の <Ethernet Address> の項目を参照してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【レポート印刷】を選び、OK【ネットワーク設定リスト】の順に選び、OK を押します。

2 スタート モノクロ または カラー スタート を押します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押します。

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押します。

4 スタート モノクロ または カラー スタート を押します。

サーバ /E メールの設定（MFC-6490CN/6890CN）

インターネットファクス（I-FAX）機能、メール送信機能を利用するには、環境に応じて以下の項目を設定します。

- メールアドレス
- SMTP サーバ
- SMTP ポート
- SMTP Auth.
- POP3 サーバ
- POP3 ポート
- アカウント名
- パスワード
- APOP

メールアドレス

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メールアドレス】の順に選び、OK を押します。

2 E メールアドレスを入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【XXXXX@example.com】です。
E メールアドレスが登録されます。

メモ
- 登録されている E メールアドレスを変更するときは、クリア/バック を押してアドレスを消去してから新しい E メールアドレスを入力してください。
- E メールアドレスは、最大 60 文字まで入力できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【メールアドレス】の順に押します。

2 E メールアドレスを入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【XXXXX@example.com】です。
E メールアドレスが登録されます。

> メモ
> - 登録されている E メールアドレスを変更するときは、⌫ を押して、アドレスを消去してから新しい E メールアドレスを入力してください。
> - E メールアドレスは、最大 60 文字まで入力できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SMTP サーバ

ネットワーク上の SMTP メールサーバ（送信用サーバ）の IP アドレスまたはサーバ名を設定します。この項目はインターネットファクス機能を使用する上で正しく設定されている必要があります。
（例：mail.xyz.com または 192.168.001.099）

液晶ディスプレイモデルの場合

1 （メニュー）を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、（OK）【E メール /IFAX】（OK）【サーバ設定】（OK）【SMTP サーバ】の順に選び、（OK）を押します。

2 ▲/▼で【名前】または【IP アドレス】を選び、（OK）を押します。

3 【名前】を選んだ場合は、SMTP サーバのサーバ名、【IP アドレス】を選んだ場合は、SMTP サーバの IP アドレスを入力し、（OK）を押します。

【IP アドレス】のお買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
SMTP サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

メモ
- サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

4 （停止/終了）を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】、【SMTP サーバ】の順に押します。

2 【名前】または【IP アドレス】を押します。

3 【名前】を選んだ場合は、SMTP サーバのサーバ名、【IP アドレス】を選んだ場合は、SMTP サーバの IP アドレスを入力し、OK を押します。

【IP アドレス】のお買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
SMTP サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

メモ
- サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SMTP ポート

SMTP メールサーバ（送信用サーバ）のポートを指定します。

> メモ　この項目はメールサーバ管理者またはお使いのインターネットサービスプロバイダから変更の指示があったときなどに必要に応じて設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【SMTP ポート】の順に選び、OK を押します。

2 SMTP ポート番号を入力し、OK を押します。

ポート番号は、メールサーバ管理者またはプロバイダの指定するポート番号を入力してください。
特に指定されていない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）の【25】で使用します。
SMTP ポート番号が登録されます。

> メモ　ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】、【SMTP ポート】の順に押します。

2 SMTP ポート番号を入力し、OK を押します。

ポート番号は、メールサーバ管理者またはプロバイダの指定するポート番号を入力してください。
特に指定されていない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）の【25】で使用します。
SMTP ポート番号が登録されます。

メモ ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SMTP Auth.

ユーザ認証を必要とするセキュリティの高い SMTP サーバを経由して E メールを送信するには、SMTP 認証の設定が必要です。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【SMTP Auth.】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【認証しない】、【SMTP Auth.】または【POP before SMTP】を選びます。

【認証しない】または【POP before SMTP】を選んだ場合は、6 に進みます。
【SMTP Auth.】を選んだ場合は、3 に進みます。

3 本製品に割り当てられた E メールのアカウント名（ユーザ名）を入力し、OK を押します。

アカウント名が登録されます。

> メモ　アカウント名は、最大 32 文字まで入力できます。

4 SMTP サーバにアクセスするためのパスワードを入力し、OK を押します。

> メモ　パスワードは、最大 32 文字まで入力できます。

5 確認のため、もう一度パスワードを入力し、OK を押します。

パスワードが登録されます。

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】、【SMTP Auth.】の順に押します。

2 【認証しない】、【SMTP Auth.】または【POP before SMTP】を押します。

【認証しない】または【POP before SMTP】を選んだ場合は、6 に進みます。
【SMTP Auth.】を選んだ場合は、3 に進みます。

3 本製品に割り当てられた E メールのアカウント名（ユーザ名）を入力し、OK を押します。

アカウント名が登録されます。

> メモ　アカウント名は、最大 32 文字まで入力できます。

4 SMTP サーバにアクセスするためのパスワードを入力し、OK を押します。

> メモ　パスワードは、最大 32 文字まで入力できます。

5 確認のため、もう一度パスワードを入力し、OK を押します。

パスワードが登録されます。

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

POP3 サーバ

ネットワーク上の POP3 メールサーバ（受信用サーバ）の IP アドレスまたはサーバ名を設定します。この項目はインターネットファクス機能を使用する上で正しく入力されている必要があります。
（例：pop.xyz.com または 192.168.001.099）

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【POP3 サーバ】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【名前】または【IP アドレス】を選び、OK を押します。

3 【名前】を選んだ場合は、POP3 サーバのサーバ名、【IP アドレス】を選んだ場合は、POP3 サーバの IP アドレスを入力し、OK を押します。

【IP アドレス】のお買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
POP3 サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

メモ
- サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【POP3 サーバ】を押します。

3 【名前】または【IP アドレス】を押します。

4 【名前】を選んだ場合は、POP3 サーバのサーバ名、【IP アドレス】を選んだ場合は、POP3 サーバの IP アドレスを入力し、OK を押します。

【IP アドレス】のお買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
POP3 サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

> メモ
> - サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
> - サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

POP3 ポート

POP3 メールサーバ（受信用サーバ）のポートを指定します。

メモ　この項目はメールサーバ管理者から変更の指示があったときなどに必要に応じて設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【POP3 ポート】の順に選び、OK を押します。

2 POP3 ポート番号を入力し、OK を押します。

メールサーバ管理者から指定されたポート番号を入力してください。
特に指定されていない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）の【110】で使用します。
POP3 ポート番号が登録されます。

メモ　ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【POP3 ポート】を押します。

3 POP3 ポート番号を入力し、OK を押します。

メールサーバ管理者から指定されたポート番号を入力してください。
特に指定されていない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）の【110】で使用します。
POP3 ポート番号が登録されます。

> メモ
> ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

アカウント名

POP3 メールサーバ（受信用サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントとパスワードが必要です。この項目では、アクセス用アカウント名（ユーザ名）を設定します。アカウント名を設定したあとは、必ずパスワードも設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【アカウント名】の順に選び、OK を押します。

2 本製品に割り当てられている E メールのアカウント名（ユーザ名）を入力し、OK を押します。

アカウント名が登録されます。

メモ
- 登録されているアカウント名を変更するときは、クリア/バック を押してアカウント名を消去してから新しいアカウント名を入力してください。
- アカウント名は、最大 20 文字まで入力できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【アカウント名】を押します。

3 本製品に割り当てられている E メールのアカウント名（ユーザ名）を入力し、OK を押します。

アカウント名が登録されます。

メモ
- 登録されているアカウント名を変更するときは、⌫ を押してアカウント名を消去してから新しいアカウント名を入力してください。
- アカウント名は、最大 20 文字まで入力できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

パスワード

POP3 メールサーバ（受信用サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントとパスワードが必要です。この項目では、アクセス用アカウントと対になるパスワードを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【パスワード】の順に選び、OK を押します。

2 POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを入力し、OK を押します。

> メモ パスワードは、最大 20 文字まで入力できます。

3 確認のため、もう一度パスワードを入力し、OK を押します。

パスワードが登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【パスワード】を押します。

3 POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを入力し、OK を押します。

メモ パスワードは、最大 20 文字まで入力できます。

4 確認のため、もう一度パスワードを入力し、OK を押します。

パスワードが登録されます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APOP

アカウントやパスワードのセキュリティを保つために、APOP（Authenticated Post Office Protocol）を有効にできます。

メモ APOP はお使いの POP3 サーバの使用に合わせて設定してください。詳しくは、P.2-68「セキュリティ方式（メール通知用）」を参照してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【サーバ設定】OK【APOP】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
APOP の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【サーバ設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【APOP】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
APOP の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

インターネットファクス受信、メール受信の設定（MFC-6490CN/6890CN）

本製品でインターネットファクスや E メールを受信する場合は、必要に応じて以下の 5 つの項目を設定できます。

- 自動受信（MFC-6490CN）
- ポーリング間隔（MFC-6490CN）
- 自動受信 / ポーリング間隔（MFC-6890CN）
- ヘッダ印刷
- エラーメール削除
- 受信確認

自動受信（自動メールチェック機能）（MFC-6490CN）

自動受信を【オン】に設定すると、本製品は「ポーリング間隔」で設定した時間ごとに POP3 サーバへメールが届いているかチェックを行います。

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール受信設定】OK【自動受信】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
自動受信の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）（MFC-6490CN）

自動受信を【オン】に設定しているとき、POP3 サーバへのメールチェックを行う間隔を設定します。

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール受信設定】OK【ポーリング間隔】の順に選び、OK を押します。

2 メールをチェックする間隔を分単位で入力し（01 ～ 60 分）、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【10 分】です。
ポーリング間隔の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

自動受信（自動メールチェック機能）/ ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）（MFC-6890CN)

自動受信を【オン】に設定すると、本製品は設定した時間ごとに POP3 サーバへメールが届いているかチェックを行います。

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【メール受信設定】、【自動受信】の順に押します。

2 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。

【オフ】を選んだ場合は 4 へ、【オン】を選んだ場合は 3 へ進みます。

3 【 1 分】、【3 分】、【5 分】、【10 分】、【30 分】または【60 分】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【10 分】です。

ポーリング間隔の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ヘッダ印刷

インターネットファクスやEメールを受信すると、本製品はメールの内容を印刷します。このときにヘッダ部分を印刷するかどうかを設定します。

- 「全て」：ヘッダをすべて印刷します。
- 「ヘッダのみ」：ヘッダから、タイトル、宛先、差出人を印刷します。
- 「なし」：ヘッダを印刷しません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【Eメール/IFAX】OK【メール受信設定】OK【ヘッダ印刷】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【全て】、【ヘッダのみ】または【なし】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【なし】です。
ヘッダ印刷の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【Eメール/IFAX】、【メール受信設定】、【ヘッダ印刷】の順に押します。

2 【全て】、【ヘッダのみ】または【なし】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【なし】です。
ヘッダ印刷の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

エラーメール削除

エラーメール削除を【オン】に設定すると、本製品がメールのチェックを行ったときに、POP3 サーバから取得できなかったメールを削除することができます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール受信設定】OK【エラーメール削除】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
エラーメール削除の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【メール受信設定】、【エラーメール削除】の順に押します。

2 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
エラーメール削除の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

受信確認

本製品がインターネットファクス（I-FAX）を受信したことを送信者に通知するよう設定できます。
- 「オン」：すべての I-FAX メッセージに対して送信元に受信確認を送付します。
- 「MDN」：MDN（受信確認リクエスト）機能を使用して送られてきた I-FAX メッセージの送信元に対してのみ受信確認を送付します。
- 「オフ」：受信確認の送付を行いません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール受信設定】OK【受信確認】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】、【MDN】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
受信確認の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】、【メール受信設定】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【受信確認】を押します。

3 【オン】、【MDN】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
受信確認の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

インターネットファクス送信、メール送信の設定（MFC-6490CN/6890CN）

本製品でインターネットファクスやEメールを送信するには、以下の3つの項目を設定する必要があります。

- メールタイトル
- サイズ制限
- 受信確認要求

メールタイトル

コンピュータへEメールを送信するときに、件名（Subject）として表示されるテキストです。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール送信設定】OK【メールタイトル】の順に選び、OK を押します。

2 送信メールのタイトルを入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Internt Fax Job】です。
メールタイトルの設定が登録されます。

> **メモ** メールタイトルは、最大40文字まで入力できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メール送信設定】、【メールタイトル】の順に押します。

メールタイトルの設定が登録されます。

3 送信メールのタイトルを入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Internt Fax Job】です。
メールタイトルの設定が登録されます。

メモ　メールタイトルは、最大 40 文字まで入力できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サイズ制限

サイズ制限を【オン】に設定しておくと、1MB を超えるサイズの E メールを送信したときに「メモリーがいっぱいです」と表示され、E メールの送信が中止されてエラーレポートが出力されます。サイズ制限を【オン】にしたときは、ページを分割して送信するなど、1 通の E メールを 1MB 以下にする必要があります。

液晶ディスプレイモデルの場合

1. メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール送信設定】OK【サイズ制限】の順に選び、OK を押します。

2. ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

   お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
   サイズ制限の設定が登録されます。

3. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1. 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2. ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メール送信設定】、【サイズ制限】の順に押します。

3. 【オン】または【オフ】を押します。

   お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
   サイズ制限の設定が登録されます。

4. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

受信確認要求

インターネットファクスを送信したとき、受信した相手機から受信確認メッセージを受け取るように要求します。受信側の機器で MDN（受信確認リクエスト）機能の設定が有効になっている必要があります。
受信確認について詳しくは、「画面で見るマニュアル」（HTML 版）の「受信確認について」を参照してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【メール送信設定】OK【受信確認要求】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
受信確認要求の設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メール送信設定】、【受信確認要求】の順に押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
受信確認要求の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

リレー設定（MFC-6490CN/6890CN）

インターネットファクスで受け取ったドキュメントのデータを、通常の電話回線を利用して他のファクス機器に転送することができます。
本製品でリレー配信をするには、以下の 3 つの項目を設定する必要があります。

- リレー配信許可
- 許可ドメイン
- リレー配信レポート

リレー許可

リレー配信を行うかどうかを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 **メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【リレー設定】OK【リレー許可】の順に選び、OK を押します。**

2 **◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。**

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
リレー配信許可の設定が登録されます。

3 **停止/終了 を押します。**

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【リレー設定】、【リレー許可】の順に押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
リレー配信許可の設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

許可ドメイン

本製品を経由して転送が可能なドメイン名を登録します。ここに登録されていないドメインからのインターネットファクスは転送できません。

メモ
- ドメイン名は信頼できるものを登録してください。
- ドメイン名は、5 件まで登録できます。
- ドメイン名とは、一般的に「taro@brother.co.jp」という E メールアドレスの場合、@より後の「brother.co.jp」の部分を指しています。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【リレー設定】OK【許可ドメイン】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で登録するリレー番号を選びます。

3 ドメイン名を入力し、OK を押します

許可ドメインの設定が登録されます。

メモ
- ドメイン名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- ドメイン名は、最大 30 文字まで入力できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【リレー設定】、【許可ドメイン】の順に押します。

3 登録するリレー番号を押します。

4 ドメイン名を入力し、OK を押します

許可ドメインの設定が登録されます。

メモ
- ドメイン名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- ドメイン名は、最大 30 文字まで入力できます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

リレーレポート

リレーレポートは、本製品を経由してインターネットファクスの転送が行われたときに出力されます。また、このレポートはネットワーク PC ファクス機能を使用したドキュメントの送信確認のときにも出力されます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【E メール /IFAX】OK【リレー設定】OK【リレーレポート】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
リレーレポートの設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【E メール /IFAX】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【リレー設定】、【リレーレポート】の順に押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
リレーレポートの設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

スキャン to FTP の設定 (MFC-5890CN/6490CN/6890CN)

本製品でスキャン to FTP 機能を使用する場合、必要に応じて以下の項目を設定できます。
- パッシブモード
- ポート番号
- オリジナルファイル名 1/2
- FTP プロファイル設定

パッシブモード

FTP サーバに接続後、PORT コマンドの代わりに PASV コマンドを送信するかどうかを設定します。パッシブモードを【オン】に設定していると、固定のポート番号を使用する通常の FTP 接続よりも、やや安全性が高くなります。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【スキャン to FTP】OK【パッシブモード】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
パッシブモードの設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【スキャン to FTP】、【パッシブモード】の順に押します。

3 【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
パッシブモードの設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ポート番号

FTP サーバに接続するポート番号を設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【スキャン to FTP】OK【ポート番号】の順に選び、OK を押します。

2 ポート番号を入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【21】です。
ポート番号の設定が登録されます。

> メモ ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【スキャン to FTP】、【ポート番号】の順に押します。

3 ポート番号を入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【21】です。
ポート番号の設定が登録されます。

> メモ ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

オリジナルファイル名 1/2

FTP サーバにアップロードするオリジナルのファイル名を、あらかじめ設定されている 7 種類のほかに 2 種類設定できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【スキャン to FTP】OK【オリジナルファイル名 1】または【オリジナルファイル名 2】の順に選び、OK を押します。

2 ファイル名を入力し、OK を押します。

オリジナルファイル名が登録されます。

メモ
- ファイル名は、最大 15 文字まで入力できます。
- ファイル名の先頭に空白が入っていると、FTP サーバの OS によってはファイルを開けなくなることがあります。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【スキャン to FTP】、【オリジナルファイル名 1】または【オリジナルファイル名 2】の順に押します。

画面に項目が表示されていない場合は、▼/▲でスクロールさせます。

3 ファイル名を入力し、OK を押します。

オリジナルファイル名が登録されます。

メモ
- ファイル名は、最大 15 文字まで入力できます。
- ファイル名の先頭に空白が入っていると、FTP サーバの OS によってはファイルを開けなくなることがあります。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

FTP プロファイル設定

接続する FTP サーバのサーバアドレス、転送先フォルダ、スキャン画質などを設定します。FTP プロファイルは 5 件まで登録できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【スキャン to FTP】OK【FTP プロファイル設定】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼で【<未登録>】を選び、OK を押します。

すでに登録されたプロファイルを変更する場合は、▲/▼で変更するプロファイル名、【変更】の順に選び、OK を押します。

> メモ
> 登録されているプロファイルを消去する場合は、▲/▼で消去するプロファイル名、【消去】の順に選び、OK を押します。

3 ▲/▼で【プロファイル名】を選び、OK を押します。

4 FTP サーバのプロファイル名を入力し、OK を押します。

> メモ
> - 登録されているプロファイル名を変更するときは、クリア/バック を押してアドレスを消去してから新しいプロファイル名を入力してください。
> - プロファイル名は、最大 30 文字まで入力できます。

5 ▲/▼で【FTP サーバアドレス】を選び、OK を押します。

6 FTP サーバのサーバ名または IP アドレスを入力し、OK を押します。

> メモ
> - サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
> - FTP サーバアドレスは、最大 60 文字まで入力できます。

7 ▲/▼で【転送先フォルダ】を選び、OK を押します。

8 転送先フォルダのパスを入力し、OK を押します。

メモ
- パスは「/brother/abc/」のように、/（スラッシュ）で区切って指定します。
- パスは、最大 60 文字まで入力できます。

9 ▲/▼で【ユーザ名】を選び、OK を押します。

10 FTP サーバにアクセスするユーザ名を入力し、OK を押します。

メモ
ユーザ名は、最大 32 文字まで入力できます。

11 ▲/▼で【パスワード】を選び、OK を押します。

12 パスワードを入力し、OK を押します。

メモ
パスワードは、最大 32 文字まで入力できます。

13 ▲/▼で【コピー画質】を選び、OK を押します。

14 ▲/▼で【カラー 150 dpi】、【カラー 300 dpi】、【カラー 600 dpi】、【モノクロ 200 × 100dpi】、【モノクロ 200 dpi】または【—】から選び、OK を押します。

メモ
【—】を選んだ場合、スキャン to FTP 実行時にこの FTP プロファイルを保存先に選ぶと、その都度コピー画質を選択する画面が表示されます。

15 ▲/▼で【ファイル形式】を選び、OK を押します。

16 保存するファイル形式を▲/▼で選び、OK を押します。

カラーの場合は【PDF】、【JPEG】または【―】から選びます。
モノクロの場合は【TIFF】、【PDF】または【―】から選びます。

メモ 【―】を選んだ場合、スキャン to FTP 実行時にこの FTP プロファイルを保存先に選ぶと、その都度ファイル形式を選択する画面が表示されます。

17 （MFC-6490CN のみ）原稿台ガラスを使ってスキャンする場合の読み取りサイズを設定しておきます。▲/▼で【ガラス面読取サイズ】選び、OK を押します。

◀/▶で【A4】、【B4】または【A3】を選び、OK を押します。

メモ ADF を使用する場合は、読み取りサイズを設定する必要はありません。

18 ▲/▼で【パッシブモード】を選び、OK を押します。

19 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

20 ▲/▼で【ポート番号】を選び、OK を押します。

21 ポート番号を入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【21】です。

メモ ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

22 FTP サーバに保存するファイル名を設定します。▲/▼で【ファイル名】を選び、OK を押します。

あらかじめ設定されている 7 種類、または、オリジナルファイル名 2 種類から選ぶことができます。
オリジナルファイル名の設定方法P.2-59

23 ▲/▼でファイル名を選び、OK を押します。

ファイル名が設定されます。

24 ▲/▼で【確定】を選び、OK を押します。

FTP プロファイルの設定が登録されます。

25 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【スキャン to FTP】を押します。

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【FTP プロファイル設定】を押します。

4 新規で設定する場合は、【登録されていません】を押し、6 へ進みます。

すでに登録されたプロファイルを変更する場合は、変更するプロファイル名、【変更】の順に押し、5 へ進みます。

> **メモ** 登録されているプロファイルを消去する場合は、消去するプロファイル名、【消去】の順に押します。

5 【プロファイル名】を押します。

6 FTP サーバのプロファイル名を入力し、OK を押します。

新規で設定する場合は、8 へ進みます。

> **メモ**
> - 登録されているプロファイル名を変更するときは、⌫ を押してアドレスを消去してから新しいプロファイル名を入力してください。
> - プロファイル名は、最大 30 文字まで入力できます。

7 【FTP サーバアドレス】を押します。

8 【名前】または【IP アドレス】を押します。

9 【名前】を選んだ場合は、FTP サーバのサーバ名、【IP アドレス】を選んだ場合は、FTP サーバの IP アドレスを入力し、OK を押します。

メモ
- サーバ名を入力する場合は、あらかじめ DNS サーバの IP アドレスが指定されている必要があります。
- FTP サーバアドレスは、最大 60 文字まで入力できます。

10 【転送先フォルダ】を押します。

11 転送先フォルダのパスを入力し、OK を押します。

メモ
- パスは「/brother/abc/」のように、/（スラッシュ）で区切って指定します。
- パスは、最大 60 文字まで入力できます。

12 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ユーザ名】を押します。

13 FTP サーバにアクセスするユーザ名を入力し、OK を押します。

メモ
ユーザ名は、最大 32 文字まで入力できます。

14 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【パスワード】を押します。

15 パスワードを入力し、OK を押します。

メモ
パスワードは、最大 32 文字まで入力できます。

16 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【スキャン画質】を押します。

17 【カラー 150 dpi】、【カラー 300 dpi】、【カラー 600 dpi】、【モノクロ 200 × 100dpi】、【モノクロ 200 dpi】または【—】を押します。

> メモ
> 【—】を選んだ場合、スキャン to FTP 実行時にこの FTP プロファイルを保存先に選ぶと、その都度スキャン画質を選択する画面が表示されます。

18 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ファイル形式】を押します。

19 保存するファイル形式を押します。

カラーの場合は【PDF】、【JPEG】または【—】から選びます。
モノクロの場合は【TIFF】、【PDF】または【—】から選びます。

> メモ
> 【—】を選んだ場合、スキャン to FTP 実行時にこの FTP プロファイルを保存先に選ぶと、その都度ファイル形式を選択する画面が表示されます。

20 原稿台ガラスを使ってスキャンする場合の読み取りサイズを設定しておきます。▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ガラス面読取サイズ】を押します。
【A4】、【B4】または【A3】を押します。

> メモ
> ADF を使用する場合は、読み取りサイズを設定する必要はありません。

21 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【パッシブモード】を押します。

22 【オン】または【オフ】を押します。

23 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ポート番号】を押します。

24 ポート番号を入力し、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【21】です。

メモ ポート番号は、1 ～ 65535 の範囲で入力します。

25 FTP サーバに保存するファイル名を設定します。【ファイル名】を押します。

あらかじめ設定されている 7 種類、または、オリジナルファイル名 2 種類から選ぶことができます。
オリジナルファイル名の設定方法P.2-59

26 ファイル名を選択し、OK を押します。

ファイル名が設定され、FTP プロファイルの設定が登録されます。

27 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タイムゾーン設定（MFC-6490CN/6890CN）

本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。

> メモ
> 本製品に接続して使用するパソコンのタイムゾーンも、本製品のタイムゾーンと合わせて設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 [メニュー] を押し、[▲]/[▼]で【ネットワーク】を選び、[OK]【タイムゾーン】を選び、[OK] を押します。

2 [▲]/[▼]で時間帯を選び、[OK] を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【UTC+09:00】です。
タイムゾーンの設定が登録されます。

3 [停止/終了] を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【タイムゾーン】を押します。

3 [－]/[＋]で時間帯を選び、[OK] を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【UTC+09:00】です。
タイムゾーンの設定が登録されます。

4 [停止/終了] を押します。

設定メニューを終了します。

セキュリティ機能を使う（MFC-6490CN/6890CN）

パソコンをネットワークに接続していると、外部から不正にネットワークからアクセスされ、パソコンやネットワーク上のデータが読み取られてしまうなどの危険性があります。本製品は、最新のネットワークセキュリティおよび暗号化プロトコルを使用して、機器への不正アクセスを防止する機能を搭載しています。

セキュリティ方式（メール通知用）

本製品は、以下のメール通知のセキュリティに対応しています。

POP before SMTP（PbS）

クライアントから E メールを送信する際のユーザ認証方法です。クライアントは、E メールを送信する前に POP3 サーバにアクセスすることによって、SMTP サーバを使用する許可を得ます。

SMTP-AUTH（SMTP 認証）

クライアントから E メールを送信する際のユーザ認証方法です。SMTP-AUTH は、SMTP（インターネット E メール送信プロトコル）を拡張し、送信者の身元を確認する認証方法を取り入れたものです。

APOP

APOP は、POP3（インターネット受信プロトコル）を拡張し、クライアントが E メールを受信するときに用いるパスワードを暗号化する認証方法を取り入れたものです。

ユーザ認証付きメール通知を使用する

ユーザ認証を必要とする SMTP サーバを経由して、メール通知機能を使用するには、「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」の認証方法を使用する必要があります。これらの方法は、無許可のユーザがメールサーバに不正アクセスするのを防ぐものです。BRAdmin Professional を使用して設定できます。

メモ POP3/SMTP 認証の設定を E メールサーバのいずれかに合わせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせ下さい。

第 3 章 無線 LAN の設定をする（無線 LAN 対応モデルのみ）

無線 LAN 対応モデルは、DCP-535CN、MFC-490CN/6490CN/930CDN/930CDWN//6890CN です。
このネットワーク設定ガイドでは MFC-930CDN/930CDWN/6890CN をタッチパネルモデル、それ以外のモデルを液晶ディスプレイモデルと記載しています。

ネットワーク環境を確認する

はじめに無線 LAN で接続するネットワーク環境を確認します。
⇒「無線 LAN の場合」P.1-4

無線 LAN 設定の方法を選ぶ

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、次の 4 つの方法があります。

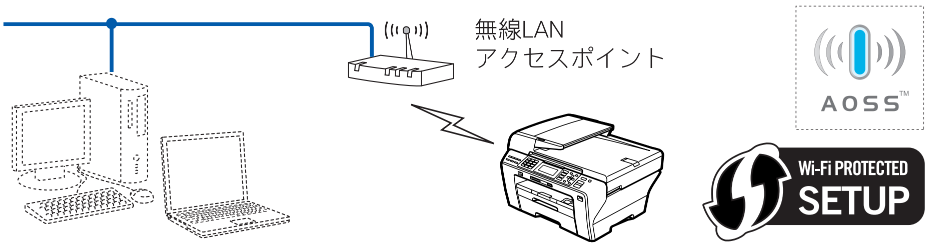
設定方法	説明
無線接続ウィザード（推奨）	本製品の操作パネルから無線接続ウィザードを使用して設定します。⇒「かんたん設置ガイド」
WPS/AOSS™	無線 LAN アクセスポイントを簡単に設定できる WPS/AOSS™ の PBC（Push Button Configuration）を使用します。⇒「かんたん設置ガイド」
WPS（PIN コード）	WPS（Wi-Fi Protected Setup™）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。⇒「WPS（PIN コード）」P.3-46
CD-ROM のブラザーインストーラ	本製品に付属している CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用して設定します。⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする (Windows®)」P.3-4

操作パネルから無線 LAN の設定を手動で行う

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、操作パネルから無線接続ウィザードを使用することをおすすめします。無線接続ウィザードを使用すると、本製品を無線 LAN に簡単に接続することができます。インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。
⇒「かんたん設置ガイド」

操作パネルと無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS（PBC ※ 1 方式）、AOSS™ のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線 LAN 設定ができます。⇒「かんたん設置ガイド」



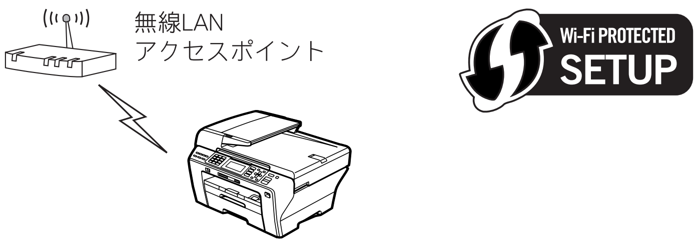
※ 1　Push Button Configuration

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）の PIN 方式を使用する

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している場合は、WPS の PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。⇒「WPS（PIN コード）」P.3-46

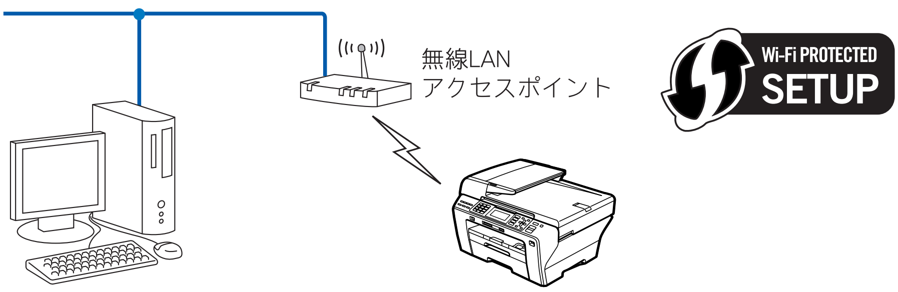
無線 LAN アクセスポイントをレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントを無線 LAN の登録管理機器として使用します。



パソコンからなど別の機器をレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントに接続しているパソコンなどを無線 LAN の登録管理機器として使用します。

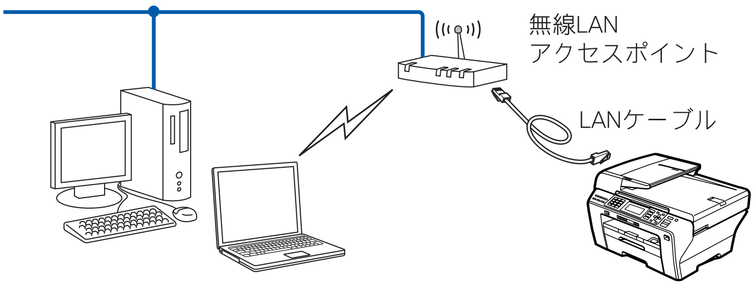


ブラザーインストーラを使用する

付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用して、本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。このインストーラを使用すると、画面の指示に従って操作することで本製品を無線 LAN に簡単に接続します。インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。
無線 LAN の設定は、本製品の操作パネルからも設定できます（推奨）。
⇒「かんたん設置ガイド」

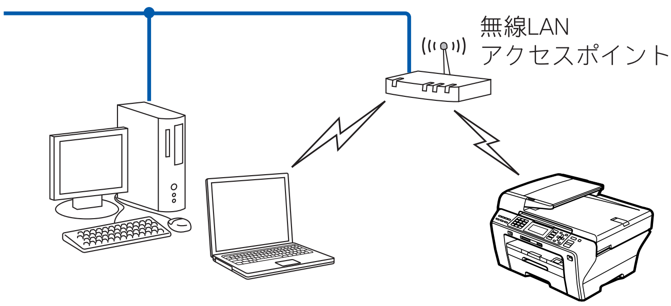
LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする

無線 LAN アクセスポイントと本製品を一時的に LAN ケーブルを使用して接続し、本製品の無線 LAN 設定を行います。同じネットワーク上のパソコンから本製品を遠隔操作することができます。
⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする (Windows®)」P.3-4



無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品に接続する無線 LAN アクセスポイントが AOSS™、WPS（PBC ※ 1 方式）、のどちらかに対応している場合に、無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線 LAN 設定を行います。
⇒「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する （WPS/AOSS™）」P.3-19



※ 1　Push Button Configuration

LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする (Windows®)

メモ

- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。
- Windows® のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows® で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、下記の手順で無効にしてから、ドライバのインストールを行ってください。
  - Windows® XP SP1 の場合
    (1) コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
    (2) 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
    (3)［詳細設定］タブをクリックする
    (4)［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックを外す
    (5) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
  - Windows® XP SP2 の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティセンター］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません)］をクリックする
    (4) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。「Windows® のインターネット接続ファイアウォールの問題」P.14-8
  - Windows Vista® の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません)］をクリックする
    (4) ドライバのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。「ファイアウォールの設定を確認する」P.14-8

1 本製品の電源コードをコンセントに差し込みます。

2 パソコンの電源を入れます。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

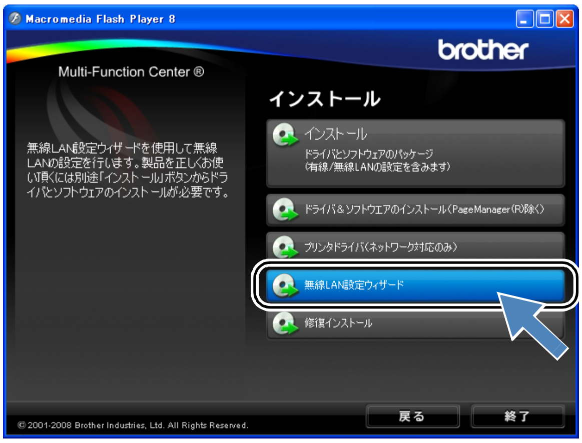
メモ
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

4 MFC-6490CN/6890CN の場合は「インストール」を、それ以外のモデルの場合は「カスタムインストール」をクリックします。



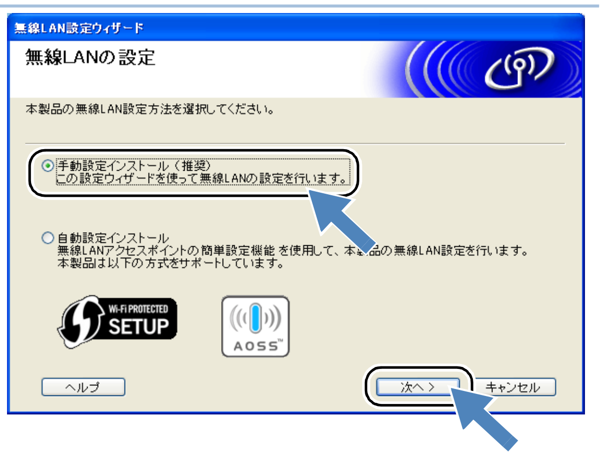


5 「無線 LAN 設定ウィザード」をクリックします。





6 「手動設定インストール (推奨)」を選び、［次へ］をクリックします。



7 「LAN ケーブルを使用します（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルを使用しません」を選び、［次へ］をクリックします。



8 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。

（液晶ディスプレイモデルの場合）

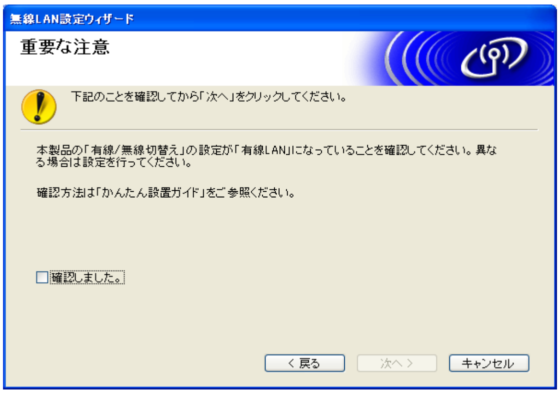
(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、OK を押す。

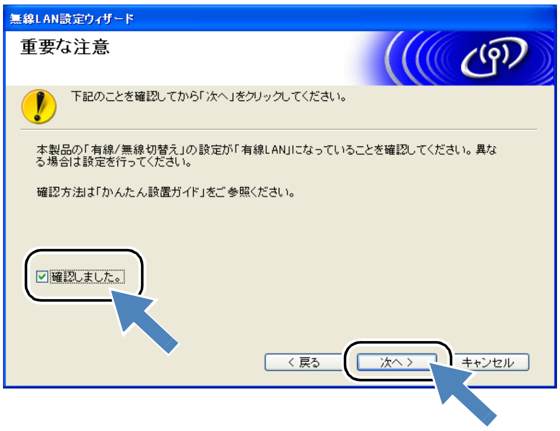
（タッチパネルモデルの場合）

(1)【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 / 無線切替え】の順に押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、OK を押す。

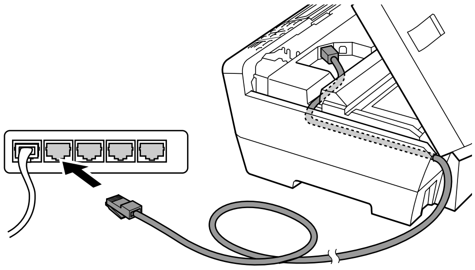


9 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。



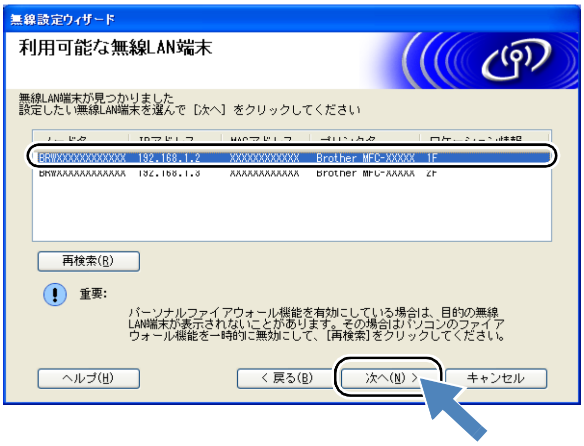
10 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを、LAN ケーブルで接続し、［次へ］をクリックします。





メモ
LAN ケーブルがない場合は、本製品の操作パネルから無線 LAN 設定を行ってください。詳しくは、かんたん設置ガイドまたは「無線接続ウィザード」P.3-41をご覧ください。

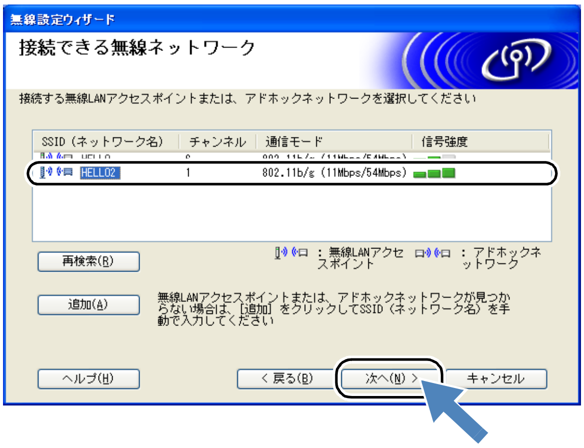
11 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選び、［次へ］をクリックします。



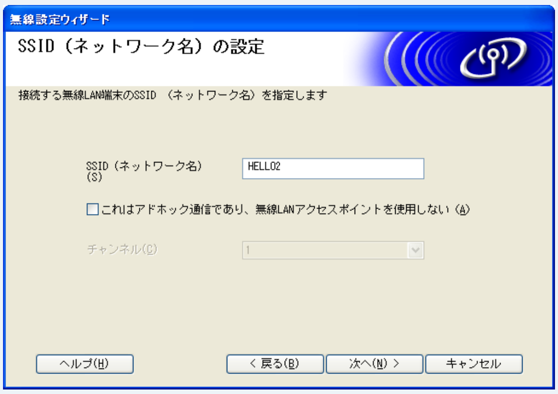
メモ
- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源がオンになっていることを確認して、［再検索］をクリックしてください。
- ネットワーク設定リストを印刷すると、本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25

12 無線 LAN アクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントを選び、［次へ］をクリックします。

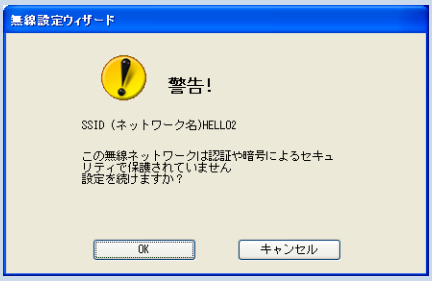
本製品のお買い上げ時の SSID は「SETUP」です。この SSID は選択しないでください。



- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- 無線 LAN アクセスポイントにステルス（SSID の隠ぺい）機能が設定されているときは、本製品が自動で SSID を見つけることができません。その場合は［追加］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID」を入力し、［次へ］をクリックします。

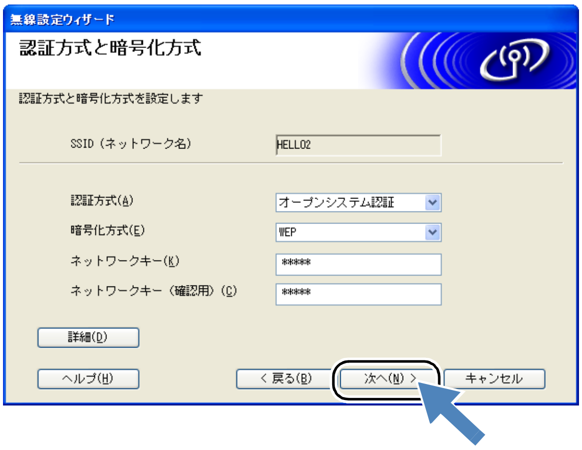


無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。



セキュリティを設定した後で、再度インストールを進めてください。

13 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定して、［次へ］をクリックします。

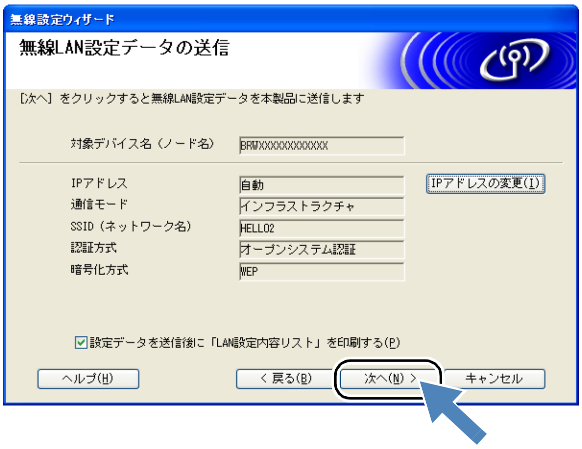


メモ
- 複数の WEP キーを設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークキーが無線 LAN アクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

14 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。

［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。

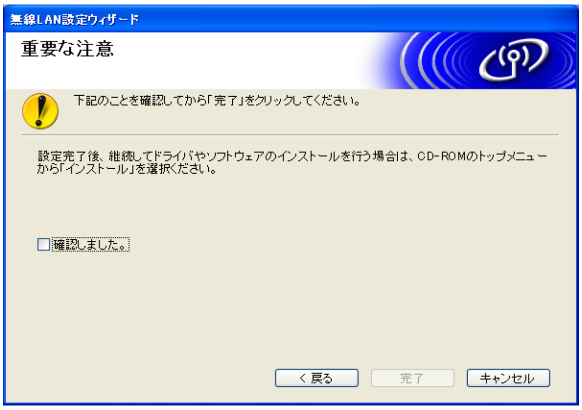


メモ
- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。
- 「LAN 設定内容リスト」を印刷しない場合は、［設定データを送信後に「LAN 設定内容リスト」を印刷する］のチェックを外してください。

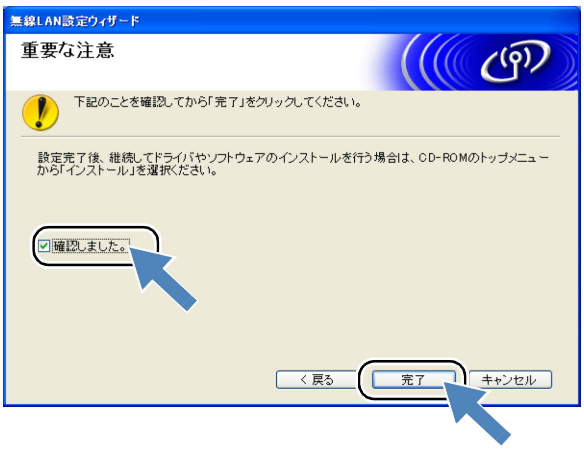
15 無線 LAN アクセスポイントと本製品から LAN ケーブルを外して、［次へ］をクリックします。



16 14 で［設定データを送信後に「LAN 設定内容リスト」を印刷する］をチェックしてある場合は、印刷されるまでしばらく待ちます。



17 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックします。



以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、本製品に付属の CD-ROM から、Presto! PageManager やプリンタドライバなどのインストールを進めてください。詳しくは、かんたん設置ガイドをご覧ください。

> **メモ** 無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品のネットワーク設定を初期化して、再度設定してください。「ネットワーク設定リセット」P.2-24

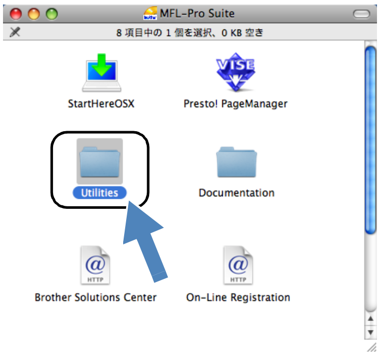
LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）

1 本製品の電源コードをコンセントに差し込みます。

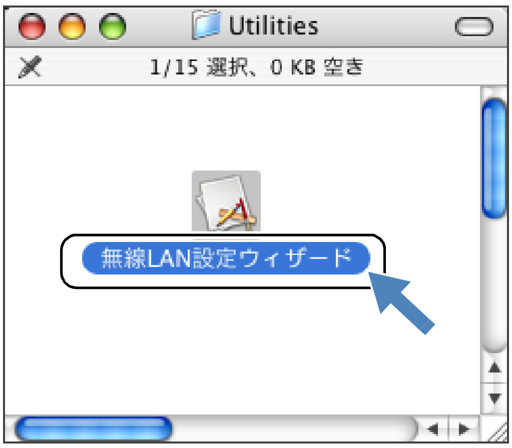
2 Macintosh の電源を入れます。

3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットします。

4 「Utilities」フォルダをダブルクリックします。



5 「無線 LAN 設定ウィザード」をダブルクリックします。



6 「手動設定インストール（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。



7 「LAN ケーブルを使用します (推奨)」を選び、［次へ］をクリックします。

本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続できない場合は、「LAN ケーブルを使用しません」を選び、［次へ］をクリックします。



8 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。

（液晶ディスプレイモデルの場合）

(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、OK を押す。

（タッチパネルモデルの場合）

(1)【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 / 無線切替え】の順に押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、OK を押す。

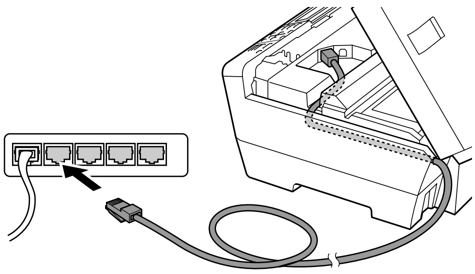


9 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。



10 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを、LAN ケーブルで接続、［次へ］をクリックします。





メモ

LAN ケーブルがない場合は、本製品の操作パネルから無線 LAN 設定を行ってください。詳しくは、かんたん設置ガイドまたは「無線接続ウィザード」P.3-41をご覧ください。

11 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選び、［次へ］をクリックします。



メモ

- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源がオンになっていることを確認して、［再検索］をクリックしてください。
- ネットワーク設定リストを印刷すると、本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳しくは「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25 を参照してください。

12 無線 LAN アクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントを選び、［次へ］をクリックします。

本製品のお買い上げ時の SSID は「SETUP」です。この SSID は選択しないでください。



メモ

- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- SSID を出力しないように無線 LAN アクセスポイントが設定されている場合は、SSID が表示されません。その場合は［追加］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID」を入力し、［次へ］をクリックします。



無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。



セキュリティを設定した後で、再度インストールを進めてください。

13 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定して、［次へ］をクリックします。



メモ

- 複数の WEP キーを設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークキーが無線 LAN アクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

14 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。

［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。



メモ

- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。
- 「LAN 設定内容リスト」を印刷しない場合は、［設定データを送信後に「LAN 設定内容リスト」を印刷する］のチェックを外してください。

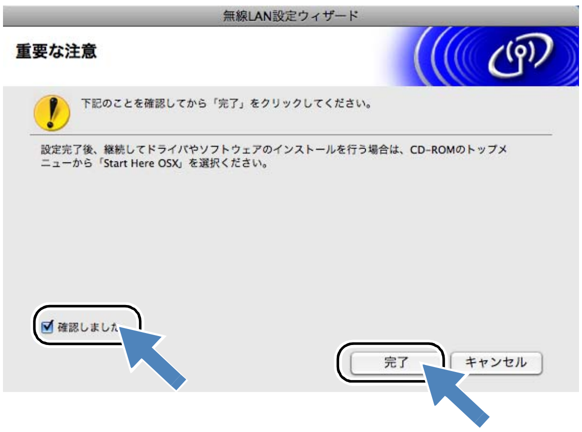
15 無線 LAN アクセスポイントと本製品から LAN ケーブルを外して、［次へ］をクリックします。



16 **14** で［設定データを送信後に「LAN 設定内容リスト」を印刷する］をチェックしてある場合は、印刷されるまでしばらく待ちます。



17 ［確認しました］をチェックして、［完了］をクリックします。



以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、本製品に付属の CD-ROM から、プリンタドライバのインストールを進めてください。詳しくは、かんたん設置ガイドをご覧ください。

メモ 無線 LAN の設定に失敗した場合は、本製品のネットワーク設定を初期化して、再度設定してください。「ネットワーク設定リセット」P.2-24

無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS または AOSS™ に対応している場合はかんたんに無線 LAN の設定を行うことができます。
※以下のロゴがついているかご確認ください。

1 （Windows® の場合）
「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Windows®）」の 1 ～ 5 を行います。
P.3-4

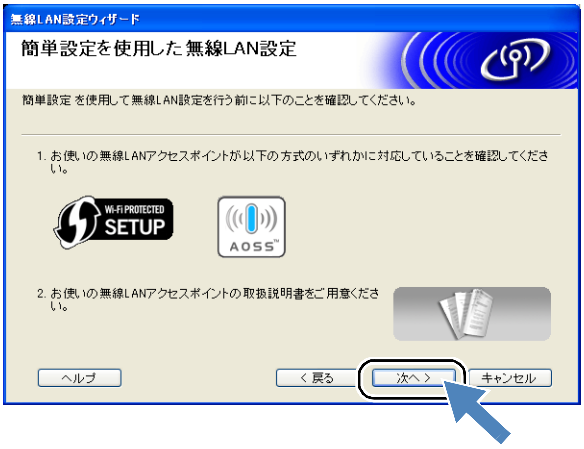
（Macintosh の場合）
「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）」の 1 ～ 5 を行います。
P.3-12

2 「自動設定インストール」を選び、［次へ］をクリックします。





3 内容を確認して、[次へ] をクリックします。





4 無線 LAN アクセスポイントを WPS または AOSS™ モードに設定します。

設定方法は無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

5 （液晶ディスプレイモデルの場合）

メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】を選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【WPS/AOSS】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、自動的に無線 LAN に切り替わります。

> **メモ** 設定中は、最長で 2 分程度、パネル操作ができなくなります。

6 （液晶ディスプレイモデルの場合）

OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

OK を押します。

自動接続が開始されます。設定が終わるまで、しばらくお待ちください。
正常に接続されると、画面に【接続しました】と表示されます。

> メモ　【接続に失敗しました】と表示された場合は、もう一度手順 2 ～ 6 をお試しください。

7 正常に接続されたら、［完了］をクリックします。

引き続き、Presto! Page Manager またはプリンタドライバのインストールが始まります。
画面の指示に従って、インストールを進めてください。





> メモ　設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけてください。

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイまたはタッチパネル（MFC-930CDN/930CDWN/6890CN での名称）から構成されています。この章では、操作パネルやタッチパネルのボタンを使用して、無線 LAN の設定を行う方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ / タッチパネル

パソコンから操作しなくても、操作パネルやタッチパネルのボタンを使って本製品のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイまたはタッチパネルには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定や確認ができる項目

本製品の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。この章では、無線 LAN の設定に関するメニューについて説明します。

メニュー名と項目名				参照先
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	2 章へ
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			ノード名	
			WINS 設定	
			WINS サーバ	
			DNS サーバ	
			APIPA	
			IPv6 ※ 1	
		イーサネット		
	無線 LAN ※ 2	TCP/IP	IP 取得方法	P.3-24
			IP アドレス	P.3-25
			サブネットマスク	P.3-26
			ゲートウェイ	P.3-27
			ノード名	P.3-29
			WINS 設定	P.3-31
			WINS サーバ	P.3-32
			DNS サーバ	P.3-34
			APIPA	P.3-36
			IPv6 ※ 1	P.3-38
		無線接続ウィザード		P.3-41
		WPS/AOSS		P.3-45
		WPS（PIN コード）		P.3-46
		無線状態	接続状態	P.3-47
			電波状態	P.3-47
			SSID	P.3-48
			通信モード	P.3-48

メニュー名と項目名				参照先
ネットワーク	E メール / IFAX ※ 3	メールアドレス		P.2-26
		サーバ設定	SMTP サーバ	P.2-28
			SMTP ポート	P.2-30
			SMTP Auth.	P.2-32
			POP3 サーバ	P.2-34
			POP3 ポート	P.2-36
			アカウント名	P.2-38
			パスワード	P.2-39
			APOP	P.2-41
		メール受信設定	自動受信	P.2-42
			ポーリング間隔	P.2-43
			ヘッダ印刷	P.2-45
			エラーメール削除	P.2-46
			受信確認	P.2-47
		メール送信設定	メールタイトル	P.2-48
			サイズ制限	P.2-50
			受信確認要求	P.2-51
		リレー設定	リレー許可	P.2-52
			許可ドメイン	P.2-54
			リレーレポート	P.2-56
	スキャン to FTP ※ 1	パッシブモード		P.2-57
		ポート番号		P.2-58
		オリジナルファイル名 1		P.2-59
		オリジナルファイル名 2		
		FTP プロファイル設定	プロファイル名 1	P.2-60
			プロファイル名 2	
			プロファイル名 3	
			プロファイル名 4	
			プロファイル名 5	
	タイムゾーン ※ 3			P.2-67
	有線 / 無線切替え ※ 2			P.2-23
	ネットワーク 設定リセット			P.2-24

※ 1　MFC-5890CN/6490CN/6890CN で表示されます。
※ 2　MFC-5890CN では表示されません。
※ 3　MFC-6490CN/6890CN で表示されます。

メモ

付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。
Windows® の場合 P.9-1
Macintosh の場合 P.13-1

TCP/IP の設定（無線）

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニューを押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
IP アドレス取得方法が設定されます。

3 停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【IP 取得方法】の順に押します。

2 【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
IP アドレス取得方法が設定されます。

3 停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスを変更する場合は、【IP アドレスの取得方法】を【Static】に指定してください。P.3-24
【Static】以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選び、OK を押します。

2 IP アドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【IP アドレス】の順に押します。

2 IP アドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）192.168.001.003
IP アドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 （メニュー）を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、（OK）【無線 LAN】（OK）【TCP/IP】（OK）【サブネットマスク】の順に選び、（OK）を押します。

2 サブネットマスクを入力し、（OK）を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）　255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 （停止/終了）を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【サブネットマスク】の順に押します。

2 サブネットマスクを入力し、（OK）を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）255.255.255.0
サブネットマスクが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

3 （停止/終了）を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルータ）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選び、OK を押します。

2 ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例） 192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ゲートウェイ】を押します。

3 ゲートウェイアドレスを入力し、OKを押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例）192.168.001.001
ゲートウェイアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> 設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
有線 / 無線切替えを【無線 LAN】に設定した場合、お買い上げ時の設定（初期値）は、【BRWxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルからノード名を入力・変更することはできません。現在のノード名の確認はできます。
ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。

メモ
設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1、
Macintosh の場合は「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.12-1 をご覧ください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選び、OK を押します。

2 ノード名を入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3
例）　BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【ノード名】を押します。

3 ノード名を入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
例） BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。
ノード名が登録されます。

メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS 設定

この項目で本製品が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto

DHCP サーバから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバアドレスを取得します。IP アドレスの取得方法が【Auto】に設定されている必要があります。

Static

手動で WINS サーバアドレスを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
WINS 設定が登録されます。

3 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【WINS 設定】を押します。

3 【Auto】または【Static】を押します。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。
WINS 設定が登録されます。

4 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバにノード名を登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1. メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。

2. ▲/▼で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、OK を押します。

3. WINS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

   操作パネルからの入力方法P.2-3
   お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
   WINS サーバのアドレスが登録されます。

   メモ
   続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
   クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

4. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【WINS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 WINS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
WINS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。スキャン E メール機能を使用する場合は必ず設定してください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選び、OK を押します。

2 ▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選び、OK を押します。

3 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
DNS サーバのアドレスが登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> クリア/バック を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【DNS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 DNS サーバのアドレスを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。
DNS サーバのアドレスが登録されます。

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本製品に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.15-2

液晶ディスプレイモデルの場合

1. メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選び、OK を押します。

2. ◀/▶ で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

   お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
   APIPA の設定が登録されます。

   メモ
   続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、クリア/バック を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【APIPA】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。
APIPA の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了を押します。

設定メニューを終了します。

IPv6（MFC-6490CN/6890CN）

本製品はインターネットプロトコル・バージョン 6（IPv6）に対応しています。IPv6 プロトコルを使用する場合は、【オン】に設定してください。
IPv6 プロトコルでの設定方法については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IPv6】の順に選び、OK を押します。

2 ◀/▶で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
IPv6 の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> クリア/バック を押したあと、▲/▼で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【IPv6】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

お買い上げ時の設定（初期値）は、【オフ】です。
IPv6 の設定が登録されます。

> メモ
> 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、
> ⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

無線 LAN 設定

無線ネットワークについて

チャンネル

無線ネットワークではチャンネルを使用します。IEEE802.11ｂ では 14 チャンネル、IEEE802.11ｇ では 13 チャンネルまで使用できますが、近所で無線 LAN アクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を 5 チャンネル離して設定するのが理想的です。

SSID

それぞれの無線ネットワークでは独自の SSID を持っています。SSID は無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器と同じ SSID に設定してください。

認証方式と暗号化方式について

有線ネットワークとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線ネットワーク環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線ネットワークに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

●認証方式

本製品がサポートする認証方式は次のとおりです。
- **オープンシステム認証：認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。**
- **共有キー認証（インフラストラクチャ通信のみ）：あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。**
- **WPA-PSK/WPA2-PSK**：定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。**WRA-PSK/WPA2-PSK** による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も **WPA-PSK/WPA2-PSK** に対応している必要があります。

●暗号化方式

本製品は暗号化方式として WEP 、TKIP および AES をサポートしています。
- なし：暗号化を行いません。
- **WEP**：**WEP（Wired Equivalent Privacy）**の機能を用いてデータを暗号化し送受信を行います。
- **TKIP**：定期的に暗号化キーが変更される暗号化方式です。高いセキュリティを実現できます。
- **AES**：**AES（Advanced Encryption Standard）**は **Wi-Fi Alliance®** が認定するより強力な暗号化方式です。

暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次のとおりです。

● WEP 暗号化方式

- **64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。**
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- **64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234aba"
- **128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。**
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- **128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

● TKIP/AES 暗号化方式

PSK（事前共有キー）を ASCII 文字 / 半角 8 ～ 63 文字以内で入力します。
TKIP や AES の暗号化キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。

> **メモ** 本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。
>
> | 主な推奨用語 | 各メーカーで使用されている用語 |
> |---|---|
> | SSID | ネットワーク名、ESS-ID、ESSID |
> | SSID の隠ぺい | SSID ステルスモード、SSID 非通知 |
> | アドホック通信 | ピアツーピア通信、無線 LAN パソコン通信 |
> | インフラストラクチャ通信 | アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信 |
> | キーインデックス | WEP キー番号、キー番号 |
> | 共有キー認証 | シェアードキー認証 |
> | 無線 LAN | ワイヤレス LAN |
> | 無線 LAN アクセスポイント | 無線 LAN ルータ、ワイヤレス・ブロードバンドルータ |
> | 無線 LAN 端末 | 無線 LAN 子機、ワイヤレスステーション |

無線接続ウィザード

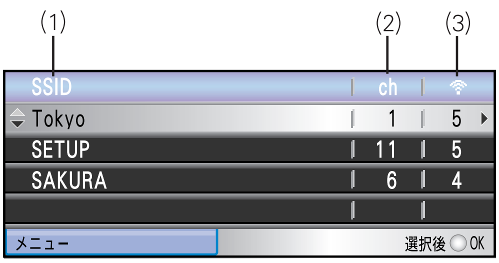
ウィザード形式で、SSID 認証方式と暗号化方式、ネットワークキーを設定します。P.2-23

> アドホック通信の場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておいてください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 **[メニュー] を押し、[▲]/[▼] で【ネットワーク】を選び、[OK]【無線 LAN】[OK]【無線接続ウィザード】の順に選び、[OK] を押します。**

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。[OK] を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。



(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁まで）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

> **メモ** 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。

2 ▲/▼で接続先の SSID を選び、OK を押します。

メモ
接続先の SSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。
(1) ▲/▼で【<New SSID>】を選び、OK を押す
(2) 接続先の SSID を入力し、OK を押す
操作パネルからの入力方法 P.2-3
(3) ▲/▼で通信モードを選び OK を押す
【インフラストラクチャ】または【アドホック】のいずれかを選びます。
※【アドホック】を選んだ場合は、4 に進みます。

3 通信モードがインフラストラクチャの場合は、▲/▼で認証方式を選び、OK を押します。

- オープンシステム認証の場合：【オープンシステム認証】⇒ 4 へ
- 共有キー認証の場合：【共有キー認証】⇒ 5 へ
- WPA-PSK または WPA2-PSK の場合：【WPA/WPA2-PSK】⇒ 7 へ

4 ▲/▼で暗号化方式を選び、OK を押します。

【WPS】を選んだ場合は、5 に進みます。
【なし】を選んだ場合は、9 に進みます。

5 ▲/▼で使用する WEP キーを選び、OK を押します。

「＊＊＊＊」と表示されているキーを選んだ場合は、【変更／変更しない】と表示されます。変更するときは、【変更】を選んで OK を押し 6 に進みます。変更しないときは、【変更しない】を選んで OK を押し 9 へ進みます。

何も表示されていないキーを選んだ場合は、6 へ進みます。

6 WEP キーを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-3
9 へ進みます。

7 ▲/▼で暗号化方式を選び、OK を押します。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

8 暗号キーを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-3

9 【設定を適用しますか？】と表示されたら、(MFC-XXXX の場合）または (DCP-XXXX の場合）を押します。

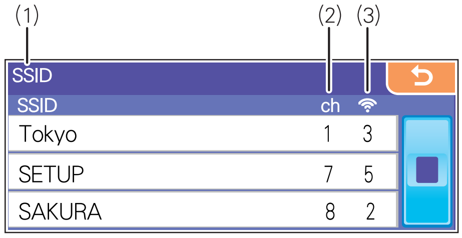
本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

10 を押します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【無線接続ウィザード】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。【はい】を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。



(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁まで）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

> **メモ** 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。

2 接続先の SSID を選びます。

目的の SSID が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

> **メモ** 接続先の SSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。
>
> (1) ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【<New SSID>】を押す
>
> (2)接続先の SSID を入力し、OK を押す
>
> タッチパネルからの入力方法 P.2-4
>
> (3)通信モードを選ぶ
>
> 【インフラストラクチャ】または【アドホック】を押します。
>
> ※【アドホック】を選んだ場合は、4 に進みます。

3 通信モードがインフラストラクチャの場合は、認証方式を選びます。

- オープンシステム認証の場合：【オープンシステム認証】を押す⇒ 4 へ
- 共有キー認証の場合：【共有キー認証】を押す⇒ 5 へ
- WPA-PSK または WPA2-PSK の場合：【WPA/WPA2-PSK】を押す⇒ 7 へ

4 暗号化方式を選びます。

【WEP】を押した場合は、5 に進みます。
【なし】を押した場合は、9 に進みます。

5 使用する WEP キーを選び、【キー 1】、【キー 2】、【キー 3】または【キー 4】を押します。

「****」と表示されているキーを選んだ場合は、【変更】【変更しない】と表示されます。変更するときは、【変更】を押し 6 に進みます。変更しないときは、【変更しない】を押し 9 へ進みます。

何も表示されていないキーを選んだ場合は、6 へ進みます。

6 WEP キーを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4
9 へ進みます。

7 暗号化方式を選びます。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を押します。

8 暗号キーを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-4

9 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、画面に【接続しました】と表示されます。

10 × を押します。

WPS/AOSS™

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、ボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。

※ WPS または「AOSS™」を使用するには、お使いのルータ、無線 LAN アクセスポイントが、WPS または「AOSS™」に対応している必要があります。以下のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1 無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを押します。

2 （液晶ディスプレイモデルの場合）

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【WPS/AOSS】の順に押します。

WPS/AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK（液晶ディスプレイモデルの場合）または【はい】（タッチパネルモデルの場合）を押すと、無線 LAN に切り替わり、WPS 接続または AOSS™ 接続が開始されます。

メモ

- 【通信エラー】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。
- 【アクセスポイントが複数見つかりました】と表示された場合は、接続したい無線 LAN アクセスポイントを選んで、もう一度上記の手順をお試しください。
- 設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけてください。

WPS（PIN コード）

WPS（Wi-Fi Protected Setup^{TM}）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。

※ PIN コードを使用してネットワークに本製品を接続するには、お使いのルータ、無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している必要があります。以下のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS（PIN コード）】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【WPS（PIN コード）】を押します。

画面に 8 桁の PIN コードが表示されます。

> **メモ** WPS（PIN コード）設定中は、最長で 5 分程度、パネル操作ができなくなります。

2 本製品の PIN コードを確認し、パソコンから無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラへ登録します。

無線 LAN の状態表示

無線 LAN をお使いの場合、ネットワーク設定や状況を確認できます。

接続状態

接続状態を表示します。

1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【接続状態】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【接続状態】を表示させます。

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】または【アクティブ（11g)】と表示されているときは、正常に接続されています。

2 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

電波状態

電波状態を表示します。

1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【電波状態】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【電波状態】を表示させます。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。

2 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SSID

SSID を表示します。

1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【SSID】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【SSID】を表示させます。

SSID が表示されます。

2 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

通信モード

通信モードを表示します。

1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【通信モード】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押します。▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【通信モード】を表示させます。

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。

2 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

Windows® 編

第 4 章 ネットワークプリンタとして使う

概要

かんたん設置ガイドの手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。使用するプロトコルは TCP/IP です。インストーラーを使わずにプリンタドライバのみインストールする場合は、次ページの手順で設定してください。

●プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

プリンタドライバをインストールする

すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがインストール済みの場合」P.4-6 をご覧ください。

1. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

   モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
   画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2. MFC-5890CN/6490CN/6890CN の場合は「インストール」を、それ以外のモデルの場合は「カスタムインストール」をクリックします。



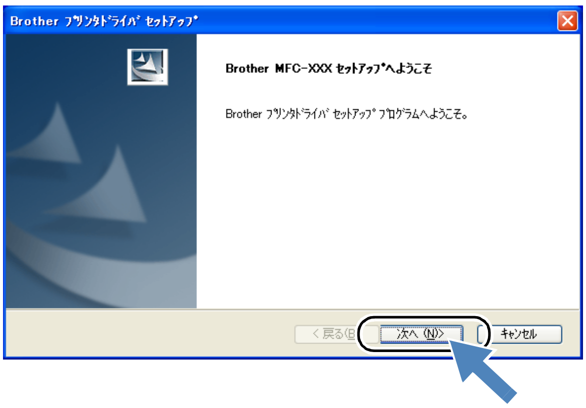


3 「プリンタドライバ（ネットワーク対応のみ）」をクリックします。

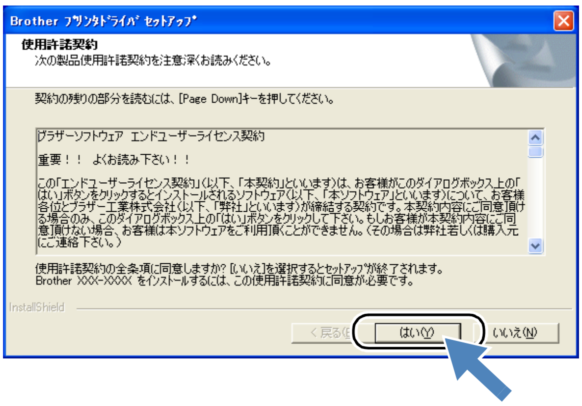




4 ［次へ］をクリックします。



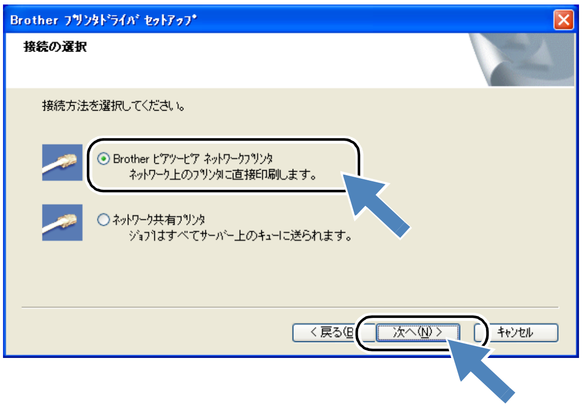
5 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。



6 「標準インストール」を選び、［次へ］をクリックします。

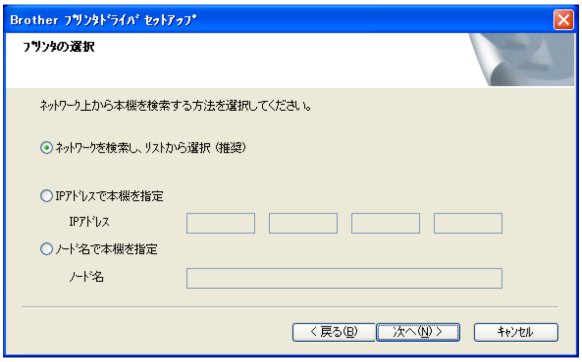


7 「Brother ピアツーピアネットワークプリンタ」を選び、［次へ］をクリックします。



8 プリンタの選択方法を選びます。

以降は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。



9 ［完了］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了します。



プリンタドライバがインストール済みの場合

すでにパソコンにプリンタドライバがインストールされている場合は、以下の手順で TCP/IP ポートの追加と本製品の関連付けを行います。

1 **コントロールパネルの［プリンタ］を表示します。**

- Windows Vista® の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2

- **Windouws Vista® の場合は、設定するプリンタを右クリックして、［プロパティ］を選びます。**
- **Windows® 2000/XP の場合は、設定するプリンタをクリックして、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選びます。**

3 **［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。**

4 **［Standard TCP/IP Port］を選び、［新しいポート］をクリックします。**

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
画面の指示に従って、TCP/IP ポートの追加と関連付けを行ってください。

その他のプリンタドライバのインストール方法

Web Services を使用する（Windows Vista® のみ）

Windows Vista® の場合は、Web Services を利用してプリンタドライバをインストールすることができます。

> メモ
> “ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか”、または “ルータを 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか” のどちらかを確認してください。

1 ［スタート］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

2 本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されますので、右クリックして［インストール］をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

> メモ
> 本製品の Web Services 名は、モデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。
> 例）Brother MFC-XXXX［XXXXXXXXXXXX］

3 管理者権限のあるユーザーの場合は、［続行］をクリックします。
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」を選択します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 管理者権限のあるユーザーの場合は、［続行］をクリックします。
管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

6 「オンラインで検索しません」を選択します。

7 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

8 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択します。

9 CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択し、［OK］をクリックします。

X:￥install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
(X は CD-ROM ドライブ)

10 ［次へ］をクリックします。

インストールが開始されます。

第 5 章 ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存したりできる機能です。

> あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。
> すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

ネットワークスキャンの設定

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピュータ名）をあらかじめ登録する必要があります。初期設定では、スキャンしたデータは「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、登録したパソコンの名前を変える場合には、以下の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒「画面で見るマニュアル」－「スキャナ」

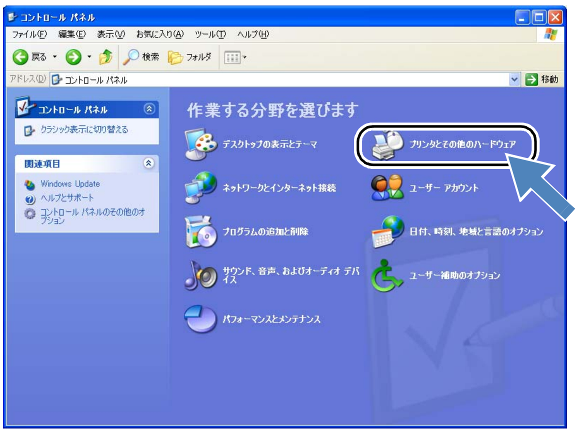
1 コントロールパネルを表示します。

- Windows® XP および Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］—［コントロールパネル］をクリックします。

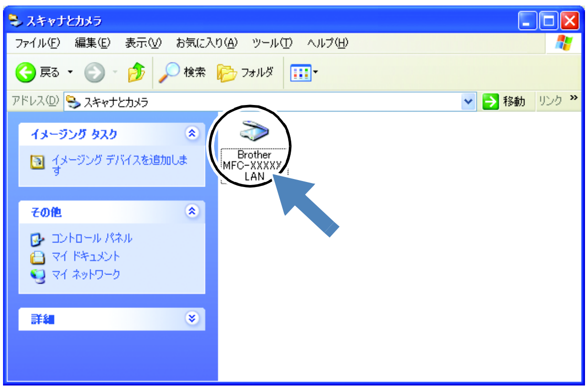
2

- Windows Vista® の場合
  ［ハードウェアとサウンド］—［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［プリンタとその他のハードウェア］—［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［設定］—［コントロールパネル］—［スキャナとカメラ］をクリックします。

「スキャナとカメラ」が表示されます。

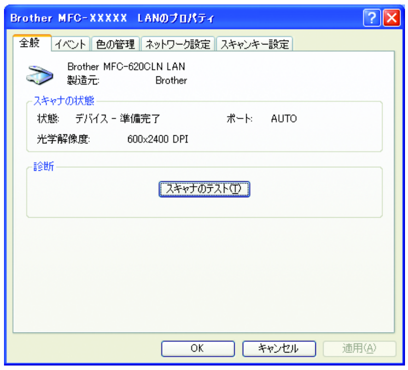


3 接続している本製品のモデル名をクリックして選びます。



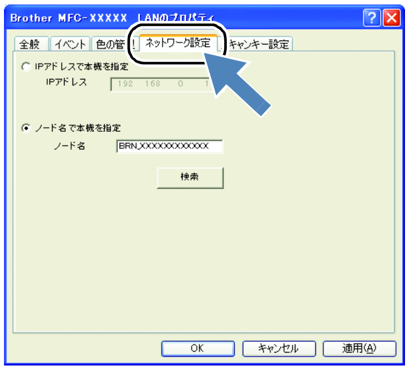
4 右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



5 「ネットワーク設定」タブで項目を設定します。

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。



6 「スキャンキー設定」タブをクリックします。

7 データを保存するパソコンの名称を変更します。



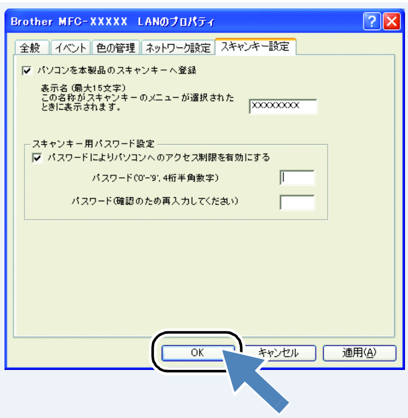
8 ［OK］をクリックします。

設定が変更されます。

メモ

スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「スキャンキーのパスワード設定」で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。



第 6 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成した印刷データを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

アプリケーションから印刷を実行し、「Brother PC-FAX」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う準備

PC-FAX の関連付け

1 **［スタート］メニューから［設定］ー［プリンタ］の順に選びます。**
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**
ブラザー PC-FAX のアイコンは、ドライバインストール時にインストールされます。
ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

3 **［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。**
複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



4 **［OK］をクリックします。**
これで設定は完了です。

メモ
ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクシミリに電話線を通じてファクスを送信する
送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、PC-FAX アドレス帳から相手先を選んでください。
ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 7 章 インターネットファクス機能を使う（MFC-6490CN/6890CN のみ）

インターネットファクス機能とは

メモ
- インターネットファクス送受信は一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。
- 受信者の場所、LAN の構造やネットワークの混み具合によりエラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は 20 ～ 30 秒）。
- 重要機密などの情報の送信についてはインターネットを通じたファクス文書のやり取りよりも一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME 形式に対応していない場合はインターネットファクス文書を受信できません。その場合、サーバーメッセージの返信も無いことがあります。
- 送信原稿のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信した E メールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

インターネットファクス（I-FAX）は、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。本製品からインターネットファクスでメッセージを送信するときは、TIFF-F 形式の添付ファイルとして E メール（MIME 形式）で送信されます。
コンピュータ を使って受信する場合、Windows® ユーザの方は TIFF-F を閲覧するためビューワーとして Microsoft® Imaging などをお使いください。Windows® ユーザの方はその他、TIFF-F が閲覧可能なビューワーをご使用ください。
Macintosh ユーザの方も TIFF-F 形式が閲覧可能なビューワーが別途必要となります。

- TIFF-F 形式について
  ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されている TIFF ファイルと比較すると、圧縮形式やページ情報を持っている（複数の画像が一つのファイルになっている）などの点で異なっています。したがって、複数枚のファクスを受信しても 1 個のファイルに変換できます。
- インターネットファクス機能で送受信できるものは A4 モノクロ TIFF-F 形式のファイルのみです。

インターネットファクス機能を使う準備

設定の流れ

インターネットファクスをご使用いただく前に、本製品のネットワークおよびメールサーバの設定をしておく必要があります。

- IP アドレスを設定します。P.2-7
  （ネットワークプリンタとして使用されていれば、設定済みです。）
- E メールアドレスを設定します。P.2-26
- SMTP、POP3 サーバーアドレスを設定します。P.2-28 P.2-34
- アカウント名およびパスワードを設定します。P.2-38 P.2-39

設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

操作パネルやタッチパネルのボタン操作について

ボタン		内容
液晶ディスプレイモデル	タッチパネルモデル	
シフト ▼ ＋ 1 あ		リレー配信の送信先 E メールアドレスを入力するときに押し、E メールアドレス入力画面に切り替えます。
操作パネルのダイヤルボタン		（液晶ディスプレイモデル）アルファベット、記号、数字を入力できます。 （タッチパネルモデル）数字を入力できます。
シフト ▼ ＋ 3 DEF		大文字、小文字を切り替える場合に使用します。
◀ / ▶	◀ ▶	カーソルを移動するときに使用します。
▲ / ▼	▲ / ▼	メニューや選択項目をスクロールするときに使用します。
OK	OK	複数の送付先を入力又は選択する場合、ひとつの送付先を入力するごとに続けて押します。
スタート モノクロ または カラー スタート		文書の送信を開始します。
停止/終了		入力した送付先の削除、スキャニングや送信を止めるときに押します。
ワンタッチボタン		通常のファクス送信時のボタン操作と同じです。
シフト ▼ ＋ スタート モノクロ または シフト ▼ ＋ カラー スタート		手動で POP3 サーバのメールをチェックできます。

リレー配信する場合

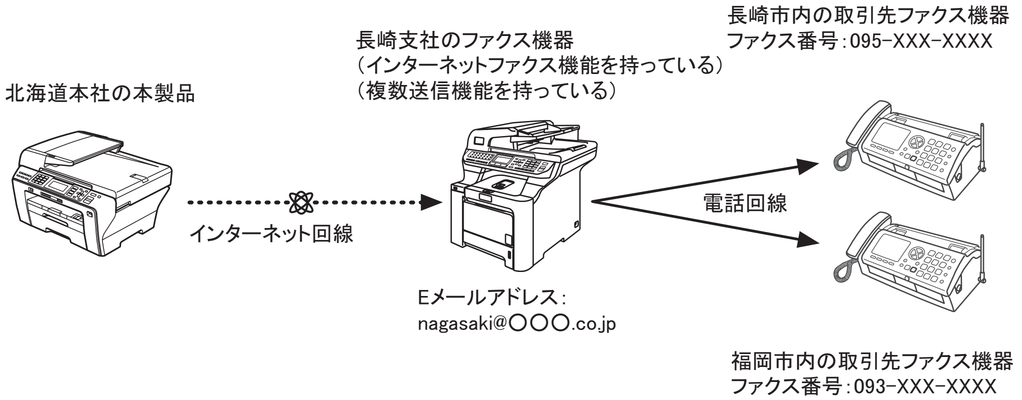
インターネットファクス（インターネット回線）で受信した文書を、通常の電話回線を使用して他のファクス機器に再送信することをリレー配信機能と呼びます。最終送信先がファクス機器の場合、長距離間の通信をインターネット回線で行い、近距離を電話回線で行うことにより、通信費を節約することができます。
本製品のリレー配信には下記の 2 種類があります。

- 本製品から文書をインターネットファクス（インターネット回線）で他の機器に送り、そこから電話回線で他のファクス機器に送信させる場合
  ⇒「本製品から送り、他の機器に中継させる場合」P.7-3
- 本製品がインターネットファクス（インターネット回線）で受信した文書を他のファクス機器に電話回線で送信する場合
  ⇒「インターネットファクスで受信した文書を本製品から他のファクス機器に送信する場合」P.7-7

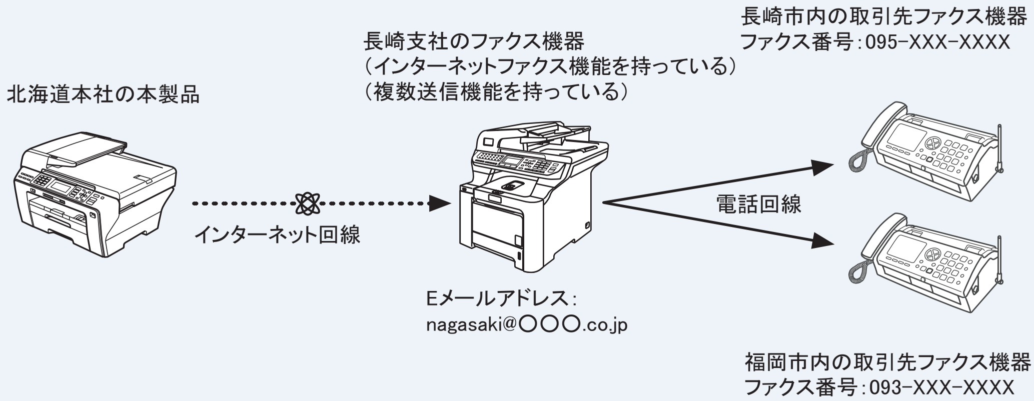
メモ　本製品から他のファクス機器に送信する場合は、最終送信先を最大 48 台まで複数設定することができます。

本製品から送り、他の機器に中継させる場合

例えば、北海道本社の本製品から、長崎支社にあるインターネットファクス機能を持つファクス機器を経由し、長崎市内にある取引先のファクス機器にファクス送信する場合のリレー配信方法を説明します。



メモ　複数の送信先にファクス送信させることができます。その場合は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が、本製品から発信した指示に従い、複数の宛先に送信できる機能を持っていることが必要です。最大複数送信数は、ファクス機器の取扱説明書でご確認ください。



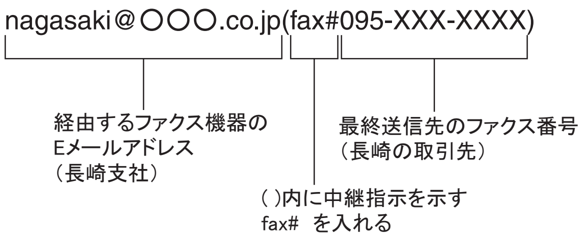
経由する長崎支社のファクス機器がインターネットファクス機能を持っている必要があります。複数個所に送信させる場合は、さらに複数同時送信機能を持っている必要があります。

宛先入力の形式を確認する

あらかじめ、経由する長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が、どのような使用環境にあるのかを確認してください。POP 受信サーバが構築されている場合と構築されていない場合で、本製品の送信宛先入力の形式が異なります。

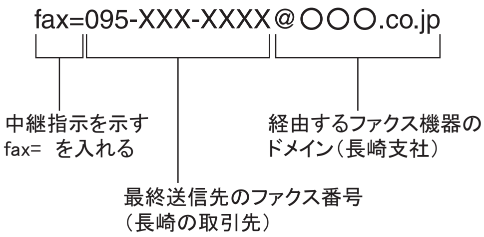
POP 受信サーバーが構築されているとき

比較的、大規模なオフィスなどで、POP 受信サーバーが構築されている環境の機器に中継させる場合は、本製品の E メールアドレス入力画面で下記のように入力し、送信します。



POP 受信サーバーが構築されていないとき

比較的、小規模なオフィスなどで、POP 受信サーバーが構築されていない環境の機器に中継させる場合は、本製品の E メールアドレス入力画面で下記のように入力し、送信します。



本製品から送信する（液晶ディスプレイモデルの場合）

1 原稿をセットする

2 ファクス を押し、▲/▼で【同報送信】を選び、OK を押す

3 ▲/▼で【番号追加】を選び OK を押す

4 シフト ▼ を押しながら 1 を押して、E メールアドレス入力画面に切り替える

5 シフト ▼ を押しながら 3 DEF を押して、小文字入力に切り替える

6 ダイヤルボタンで E メールアドレスを入力し、OK を押す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ 〇〇〇 .co.jp（fax#095-XXX-XXXX)
1 台のみに送信する場合は、8 へ進みます。

7 複数のリレー配信先を入力するには、6 を繰り返す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ 〇〇〇 .co.jp（fax#093-XXX-XXXX)

8 すべての配信先を入力したら▲/▼で【確定】を選び、OK を押す

9 スタート モノクロ を押して送信する

メモ

- 入力する E メールアドレスの形式は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が使用されている環境により異なります。
  ⇒「宛先入力の形式を確認する」P.7-4
- 頻繁にリレー配信機能を使用する場合には、決まった E メールアドレスの形式で電話帳に登録しておくこともできます。
  登録してある場合は、3 で【電話帳】を選び、電話帳から送信先を選んで OK を押します。

本製品から送信する（タッチパネルモデルの場合）

1 原稿をセットする

2 ファクス を押す

3 ◀/▶ を押して画面をスクロールさせ、【同報送信】を押す

4 【番号追加】を押す

5 を押して、E メールアドレス入力画面に切り替える

6 画面に表示されているテンキーで E メールアドレスを入力し、OK を押す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#095-XXX-XXXX)
1 台のみに送信する場合は、8 へ進みます。

7 複数のリレー配信先を入力するには、4 ～ 6 を繰り返して、E メールアドレスを入力する
例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#093-XXX-XXXX)

8 すべての送信先を入力したら OK を押す

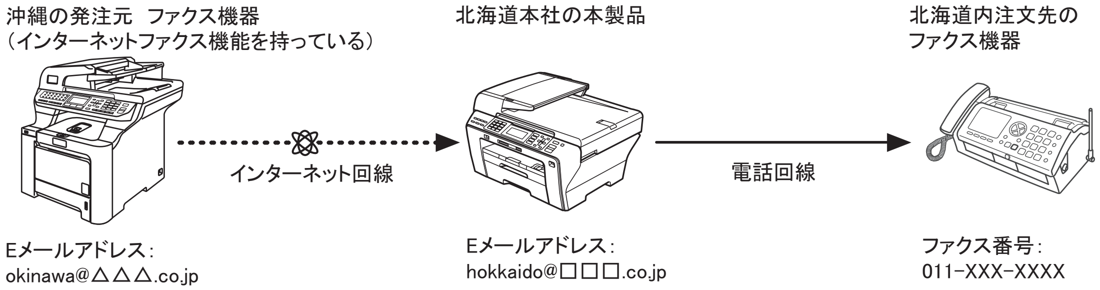
9 スタート モノクロ を押して送信する

メモ

- 入力する E メールアドレスの形式は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が使用されている環境により異なります。
  ⇒「宛先入力の形式を確認する」P.7-4
- 頻繁にリレー配信機能を使用する場合には、決まった E メールアドレスの形式で電話帳に登録しておくこともできます。登録してある場合は、4 で【電話帳】を押し、電話帳から送信先を選んで OK を押します。

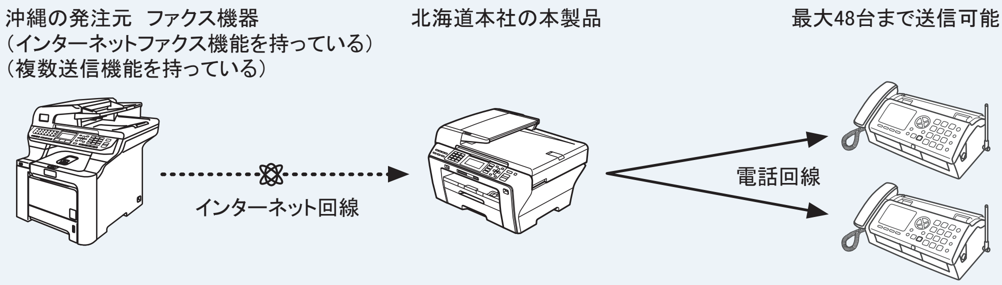
インターネットファクスで受信した文書を本製品から他のファクス機器に送信する場合

例えば、沖縄の発注元から送信されたインターネットファクス文書を北海道本社の本製品で受信し、北海道内にある注文先のファクス機器にファクス送信する場合のリレー配信方法を説明します。



メモ

- 本製品から最大 48 台の送信先にファクス送信することができます。その場合は、発信元のファクス機器に複数の宛先を指定して送信できる機能（同報送信機能）がある必要があります。
  複数宛先入力の方法について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。



- パソコンから送信する場合については、「パソコンからリレー配信を行う」P.7-9をご覧ください。

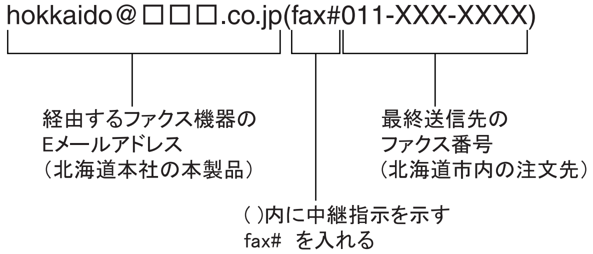
- 本製品を中継点としてリレー配信を行う場合には、あらかじめ、下記の設定を行ってください。
- リレー配信を行う発信元として、沖縄の発注元製品のドメイン名を本製品に登録してください。この場合のドメイン名とは「△△△ .co.jp」です。ドメイン名が登録されていないメールを受信しても本製品はリレー配信を行いません。（ドメイン名は 5 つまで登録できます。）
  ドメイン名の登録方法については、「許可ドメイン」P.2-54をご覧ください。
- ネットワークメニューで【リレー許可】を【オン】にしてください。【オフ】になっていると本製品はリレー配信を行いません。
  リレー許可の設定方法については、「リレー許可」P.2-52をご覧ください。

宛先入力の形式を確認する

本製品を中継点としてリレー配信を行う場合には、あらかじめ、本製品の使用環境を沖縄の発注元に知らせておく必要があります。本製品の使用環境が POP 受信サーバが構築されている場合と構築されていない場合で、宛先入力の形式が異なります。

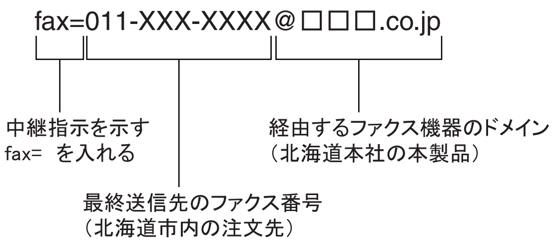
● POP 受信サーバーが構築されているとき

沖縄の発注元は、本製品に対して下記のような E メールアドレス形式で送信します。



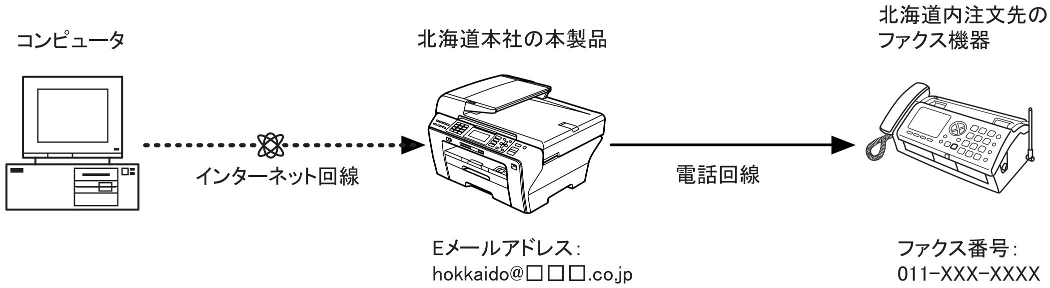
● POP 受信サーバーが構築されていないとき

沖縄の発注元は、本製品に対して下記のような E メールアドレス形式で送信します。



パソコンからリレー配信を行う

パソコンから北海道本社にある本製品に E メールを送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。



また、ソフトウエアやそのバージョンによっては、配信先のファクス番号を含んだ E メールアドレスの送信 / 同報に対応していない場合があります。

- Outlook Express
- Netscape Communicator 4.5
- Eudora Ver 4.x
- Outlook 97/98/2000/2002/2003

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。

例）POP 受信サーバーが構築されているとき

hokkaido@ □□□ .co.jp(fax#011-XXX-XXXX)

メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］キーを押すと「fax#011-XXX-XXXX」と表示されることがありますが、正しく送信できます。

リレー配信機能はネットワーク PC-FAX からも使用できます。（Windows® のみ）

メモ

- メールソフトに入力する E メールアドレスの形式は、北海道本社の本製品の使用環境により異なります。
  ⇒「宛先入力の形式を確認する」P.7-8
- 添付文書をリレー配信する場合、ITU-T 勧告による I-FAX フォーマット「T.37」規格に準拠したファイルを添付してください。

第 8 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

リモートセットアップを起動する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［モデル名］－［リモートセットアップ］の順に選びます。

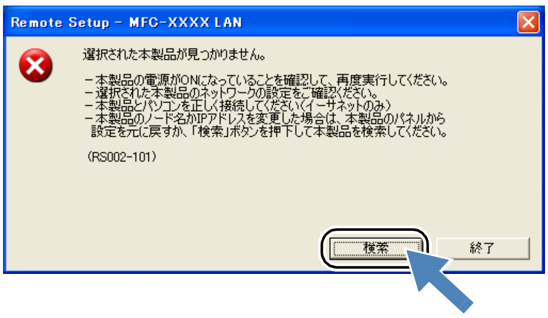
本製品に接続し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「リモートセットアップ」

> **メモ** MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ、ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは "access" に設定されています。

本製品との接続に失敗した場合

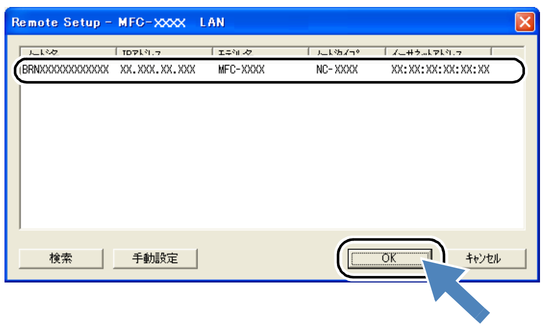
1 エラーメッセージの［検索］をクリックします。



2 表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選び、［OK］をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。



> **メモ** **表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合**
> ［手動設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先の IP アドレスまたはノード名を入力して設定してください。

第 9 章 BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows®のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Windows® 2000/XP、Windows® Server 2003、Windows Vista® で使用できます。
BRAdmin Light のインストールについては、本製品の付属の「かんたん設置ガイド」を参照してください。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）でもご参照いただけます。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

> メモ
> **ゲートウェイの設定**
> ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

> メモ
> **お買い上げ時の IP アドレス**
> IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
> ・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
> 現在の設定値を調べるときは、「ネットワーク設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25 を参照してください。

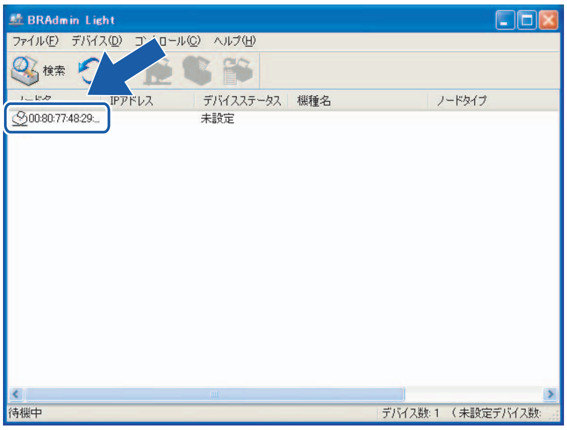
- Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。
  詳しい設定方法については「Windows® のインターネット接続ファイアウォールの問題」P.14-8 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

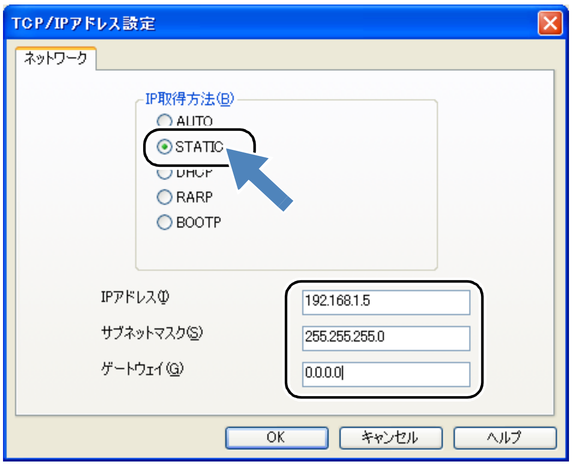
2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

3 新しいデバイスをダブルクリックします。



- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ、お買い上げ時にパスワード“access”が設定されています。その他のモデルは設定されていません。

4 [STATIC] を選択した後、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ] を入力します。



5 [OK] をクリックします。

6 本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。

設定を変更する

1 BRAdmin Light を起動します。
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

2 設定を変更するデバイスを選択します。

3 ［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

4 パスワードを入力します。

MFC-5890CN/6490CN/6890CN は、お買い上げ時にパスワードが設定されています。パスワードは“access”と入力します。
その他のモデルは、お買い上げ時にパスワードは設定されていません。パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

5 必要に応じて、設定を変更します。

メモ BRAdmin Professional を利用すると、さらに詳細な設定ができます。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

操作パネルを使用する

操作パネルの設定メニューで「LAN」メニューから本製品のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」P.2-2 を参照してください。

Macintosh 編

第 10 章 ネットワークプリンタとして使う

設定の流れ

本製品は Mac OS X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されている本製品を簡単に使用できるように設定できます。

●プリントサーバ（本製品）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。
IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」P.1-6 をご覧ください。

プリントサーバの設定を行う

↓

必要に応じてプリントサーバに IPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。

メモ　簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンタとして利用できます。設定方法については、かんたん設置ガイド「LAN ケーブルで接続する場合」または「無線 LAN で接続する場合」をご覧ください。

メモ　BRAdmin Light について
BRAdmin Light は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。
BRAdmin Light は、ドライバをインストールすると自動的にインストールされます。詳しくは、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

第 11 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。
ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、Macintosh 上のアプリケーションで作成した印刷データを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

> **メモ** ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 12 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集したりできます。

リモートセットアップを起動する

1 [Macintosh HD] − [ライブラリ] − [Printers] − [Brother] − [Utilities] から [Remote Setup] アイコンをダブルクリックします。

本製品への接続を開始し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップの画面が表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」−「リモートセットアップ」

> **メモ**
> MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ、ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは "access" に設定されています。

本製品との接続に失敗した場合

1 [Macintosh HD] − [ライブラリ] − [Printers] − [Brother] − [Utilities] − [Device Selector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックします。

2 [ネットワーク] を選びます。



3 [検索] をクリックします。

4 表示される機器の一覧から、接続する機器を選び、[OK] をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。

第 13 章 BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows®のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Mac OS X 10.2.4 以降で使用できます。
ドライバをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）でもご参照いただけます。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

> メモ
> **ゲートウェイの設定**
> ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

> メモ
> **お買い上げ時の IP アドレス**
> IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
> ・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
> 現在の設定値を調べるときは、「ネットワーク設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25 を参照してください。

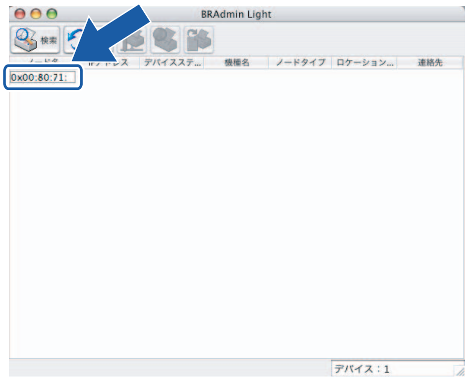
> ・アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。

デスクトップ上の［Macintosh HD］（起動ディスク）から［ライブラリ（Library）］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の順に開き、［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

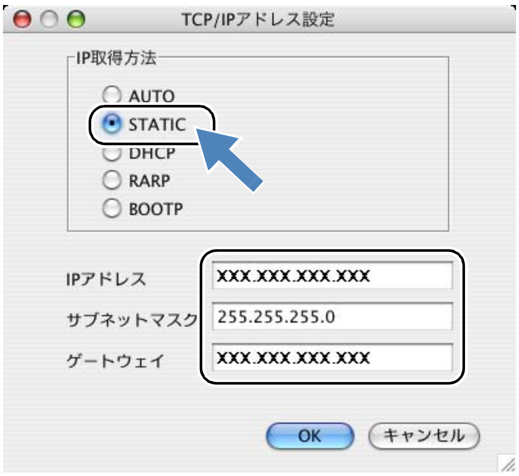
3 新しいデバイスをダブルクリックします。



メモ

- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ、お買い上げ時にパスワード“access”が設定されています。その他のモデルは設定されていません。

4 ［STATIC］を選択した後、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。



5 ［OK］をクリックします。

6 本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。

設定を変更する

1 BRAdmin Light を起動します。
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

2 設定を変更するデバイスを選択します。

3 ［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

4 パスワードを入力します。

MFC-5890CN/6490CN/6890CN は、お買い上げ時にパスワードが設定されています。パスワードは“access”と入力します。
その他のモデルは、お買い上げ時にパスワードは設定されていません。パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

5 必要に応じて、設定を変更します。

操作パネルを使用する

操作パネルの設定メニューで「LAN」メニューから本製品のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」P.2-2 を参照してください。

こんなときは

第 14 章 困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN で無線 LAN アクセスポイントと接続できない

以下の項目を確認してみてください。

●無線 LAN アクセスポイントが正常動作しているか確認してください。

無線 **LAN** を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。

●無線 LAN アクセスポイントと、本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、無線 **LAN** アクセスポイントに近づけてみてください。セットアップ時は **1m** 以内に近づけてみてください。

●近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、他の無線 **LAN** アクセスポイントやパソコン、**Bluetooth®** 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルータなどのメーカーにお問い合わせください。

●アクセス制限を設定していませんか？

本製品の **MAC** アドレスや **IP** アドレスを無線 **LAN** アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

> **メモ**
> 本製品の MAC アドレス (イーサネットアドレス) は、ネットワーク設定リストを印刷して（P.2-25）、「Ethernet Address」の行を確認してください。
> 有線 LAN と無線 LAN では、MAC アドレスが異なりますので注意してください。

● SSID(ネットワーク) 名を表示させない設定にしていませんか？

無線 **LAN** アクセスポイントのステルス **(SSID** の隠ぺい **)** 機能を使用しているときは、本製品は自動的に見つけることはできません。**SSID** を操作パネルから本製品に入力してください。

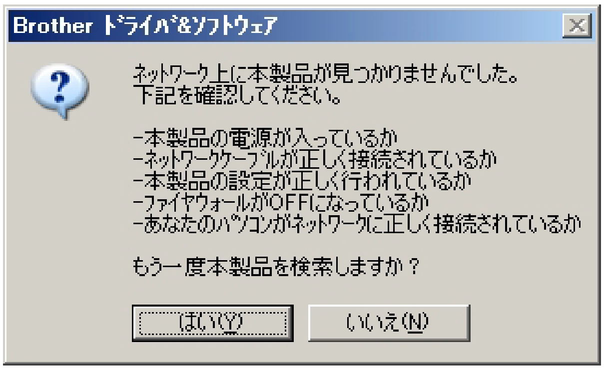
●暗号化キーやパスワードの設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

●近くで別の無線機器を使用していませんか？

マンションやアパートでご近所に既に別の無線機器が導入されているときは、干渉を避けるため、相手の無線機器が使用しているチャンネル番号から **5ch** 離して設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない



以下の項目を確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認してください。

⇒「ネットワークの環境が問題ないか調べるには」P.14-5

2 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認してください。

⇒「ネットワークの設定が問題ないか調べるには」P.14-6

3 ファイアウォールによってブロックされていないか確認してください。

⇒「ファイアウォールの設定を確認する」P.14-8

印刷 / スキャンできない

以下の手順で確認します。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認してください。

⇒「ネットワークの環境が問題ないか調べるには」P.14-5

2 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認します。

⇒「ネットワークの設定が問題ないか調べるには」P.14-6

3 再度、印刷 / スキャンを試してください。

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。プリンタフォルダ内のプリンタアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンタフォルダの表示方法
＜ Windows Vista® ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。

＜ Windows® XP ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。

＜ Windows® 2000 ＞
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

ここで印刷 / スキャンなどができなかった場合は、一度ドライバとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って、再度インストールしなおすことをおすすめします。

メモ
アンインストールの方法
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXX］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールをしてください。

4 ファイアウォールによってブロックされていないか確認してください。

⇒「ファイアウォールの設定を確認する」P.14-8

ネットワークの環境が問題ないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下の点を確認してください。

●本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は取扱説明書の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

●パソコンと無線 LAN アクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？

インターネット閲覧や **E** メールなどの機能が正常に動作できているか確認してください。

●接続方法を変更していませんか？

有線 **LAN** 接続などから接続方法を変更したときは、設定の変更が必要です。

⇒「有線 **/** 無線切替え （**DCP-535CN**、**MFC-490CN/6490CN/930CDN/930CDWN/6890CN**）」P.2-23

●有線 LAN の場合

接続したルータやハブ（**HUB**）のランプは点灯 **/** 点滅していますか？

本製品を接続している **LAN** ポートのリンクランプを確認します。

● ランプが点灯 / 点滅している場合

接続には問題ありません。

● ランプが点灯 / 点滅していない場合

物理的な接続に問題があるようです。以下の項目を確認してください。

1 ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？

接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。ストレートケーブル以外は使用しないでください。

他のケーブルで接続しなおしてください。

2 ルータ / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅していますか？

一般的に、ルータ **/** ハブ（**HUB**）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 **/** 点滅で接続状態を確認できます。

点灯 **/** 点滅していない場合には

- ほかの LAN ポートに接続しなおす
- ほかの LAN ケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。

それでも点灯 **/** 点滅しない場合は、ハブ（**HUB**）または、ルータのメーカーにご相談ください。

● 無線 LAN の場合

「無線 **LAN** で無線 **LAN** アクセスポイントと接続できない」の項目で当てはまるものはありませんか？

⇒「無線 **LAN** で無線 **LAN** アクセスポイントと接続できない」P.14-2

ネットワークの設定が問題ないか調べるには

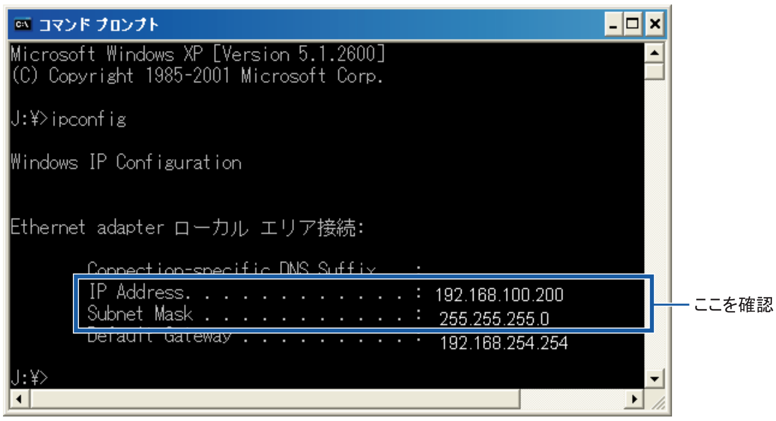
お使いのパソコンの IP アドレスの確認方法

［スタート］メニューから［プログラム］－［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックします。

1 「ipconfig」と入力 し、Enter キーを押します。

2 「IP Address (IP アドレス)」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。

例）



3 確認したら、「exit」と入力 し、Enter キーを押して終了します。

本製品の IP アドレスの確認方法

1 ネットワークの設定内容リストを印刷して、「IP Address (IP アドレス)」と「Subnet Mask （サブネットマスク)」の行を探して、設定値を確認してください。
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-25

例）

ここを確認

```
<IP Settings >
 IP Address                          192.168.11.250        (set manually)
 Subnet Mark                         255.255.255.0
 IP Gateway                          192.168.100.200
 IP Config                           STATIC
 Boot Tries                          3
 IP Filter                           Disabled
```

お使いのパソコンと本製品の **2** つの **IP** アドレスを確認してください（下記参照)。下図にあるように、ネットワークアドレス部が同じかどうかを確認します。　例えば、**Subnet Mask** （サブネットマスク）が、「**255.255.255.0**」の場合、右端の各機種のアドレスだけが違う状態が正常な状態です。

Subnet Mask（サブネットマスク）は、**IP Address (IP** アドレス **)** に被せるマスクと考えてください。下図の例では、**Subnet Mask**（サブネットマスク）の「**255**」にかかる部分がネットワークアドレス部、「**0**」にかかる部分がホストアドレス部と呼ばれ、各機器のアドレスになります。

例）**IP** アドレスが「**192.168.100.250**」の場合

ネットワークアドレス部　　ホストアドレス部

	ネットワークアドレス部	ホストアドレス部
IPアドレス	192.168.100.	250
サブネットマスク	255.255.255.	0

IP アドレス	あるパソコンは、192.168.100.202、他のパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.250 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 2 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンタを使用する全てのパソコンで同じ値にしてください。

- 正常な状態なら・・・
  IP アドレスに関しては問題ありません。次の確認へ進んでください。
- 正常な状態でないなら・・・
  IP アドレスが重複しないように設定しなおしてください。
  例えば、下記のように設定します。
  パソコン側の **IP** アドレス ： **192.168.100.202**
  本製品側の **IP** アドレス ： **192.168.100.250**
  ⇒ **IP** アドレスの設定の仕方「IP アドレス」P.2-7

ルータやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、 IP アドレス設定に誤りがなくても正常に動作しない場合があります。ルータやハブ（HUB） の再起動 （電源の入れなおし）をしてください。

ファイアウォールの設定を確認する

Windows® のインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows® XP/Windows Vista® で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

● TCP/IP ピアツーピア印刷	印刷ができない場合があります。
● ネットワークスキャナ	本製品の スキャン による以下の機能が利用できません。 ・スキャン E メール ・スキャンイメージ ・スキャン OCR ・スキャンファイル
● ネットワーク PC-FAX 受信（MFC モデルのみ）	受信ができない場合があります。
● BRAdmin Light	プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

●インターネット接続ファイアウォールを無効にする (Windows® XP Service Pack1 の場合)

1 コントロールパネルから［ネットワーク接続］をクリックします。

2 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細設定］タブをクリックします。

4 ［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを OFF にします。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える (Windows® XP Service Pack1 の場合)

1 [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する]のチェックボックスを ON にします。

2 プロパティシートの右下の［設定］ボタンをクリックします。

3 ［サービス］タブが選択されている画面で、［追加］ボタンをクリックし、以下の情報を入力します。

- サービスの説明
  “NetBIOS NameService”（名称は任意です。）
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”（本製品に割り当てた IP アドレス）
- このサービスの外部ポート番号
  “137”
- このサービスの内部ポート番号
  “137”

プロトコル（TCP/UDP）は、“UDP”を選択してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ネットワークスキャンを行う場合は、同様の手順で、以下の情報を入力します。

- サービスの説明
  “Brother NetScan”（名称は任意です）
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”（本製品に割り当てた IP アドレス）
- このサービスの外部ポート番号
  “54925”
- このサービスの内部ポート番号
  “54925”

プロトコル（TCP/UDP）は“UDP”を選択してください。

6 ネットワーク PC-FAX 受信を行う場合（MFC モデルのみ）は、同様の手順で、以下の情報を入力します。

- サービスの説明
  “Brother PC-FAX RX”（名称は任意です）
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”（本製品に割り当てた IP アドレス）
- このサービスの外部ポート番号
  “54926”
- このサービスの内部ポート番号
  “54926”

プロトコル（TCP/UDP）は“UDP”を選択してください。

7 ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

●インターネット接続ファイアウォールを無効にする (Windows® XP Service Pack2/Windows Vista® の場合)

1 コントロールパネルから、[セキュリティ] - [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックします。

- Windows® XP の場合
  コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続] − [Windows ファイアウォール] をクリックします。

2 [全般] タブが選択されている画面で、[無効 (推奨されません)] をクリックします。

●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える (Windows® XP Service Pack2/Windows Vista® の場合)

1 [例外] タブをクリックします。

2 [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3 [ポートの追加] ウィンドウで、以下の情報を入力します。

- 名前
  "Brother NetScan" (名称は任意です)
- ポート番号
  "54925"

プロトコル (TCP/UDP) は、"UDP" を選択してください。

4 ネットワーク PC-FAX 受信を行う場合 (MFC モデルのみ) は、同様の手順で、以下の情報を入力します。

- 名前
  "Brother PC-FAX RX" (名称は任意です)
- ポート番号
  "54926"

プロトコル (TCP/UDP) は、"UDP" を選択してください。

5 「ポートの追加」ウィンドウの左下の [スコープの変更] ボタンをクリックします。

6 「スコープの変更」ウィンドウで、[ユーザーのネットワーク (サブネット) のみ] を選択します。

7 [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

ローカルネットワークで複数の Windows® XP をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows® XP のファイアーウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

セキュリティ・ソフトウェアを確認する

市販のセキュリティ・ソフトウェアでパーソナル・ファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows® Firewall と同様の影響を受けます。セキュリティ・ソフトウェアをご使用の場合は、一時的にファイアウォール機能を停止させ、本機で実行できなかった操作を行ってください。セキュリティ・ソフトウェアの最新バージョンによっては、自動的に検知して設定が済まされる場合があります。
詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

第 15 章 付録

操作パネル以外から IP アドレスを設定する

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

IP アドレスの設定

> **IP アドレスの自動設定機能（APIPA）**
> APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
> APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」P.2-18を参照してください。
> お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、以下のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する P.2-7
- DHCP を使用して自動的に設定する P.15-2
- APIPA を使用して自動的に設定する P.15-2
- RARP （rarp）を使用する P.15-2
- BOOTP を使用する P.15-3
- 手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light（Windows® 2000/XP および Windows Vista®） P.15-2

IP アドレスの設定方法

手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Light

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP および Windows Vista® で使用できるソフトウェアです。TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます。

BRAdmin Light では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品の初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する」P.9-1 P.13-1をご覧ください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0．0．0．0 に自動的に設定します。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

RARP を使用する

UNIX ホストコンピュータなどで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品の IP アドレスを設定できます。

00:80:77:31:01:07 BRNXXXXXXXXXXXX

最初のエントリは、本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリは本製品の名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行する必要があります。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。

本製品の電源を On にすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを以下に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i

メモ システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルをご覧ください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、以下に示します。

BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、ネットワークプリンタの電源をオンにすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 2000/XP および Windows Vista®

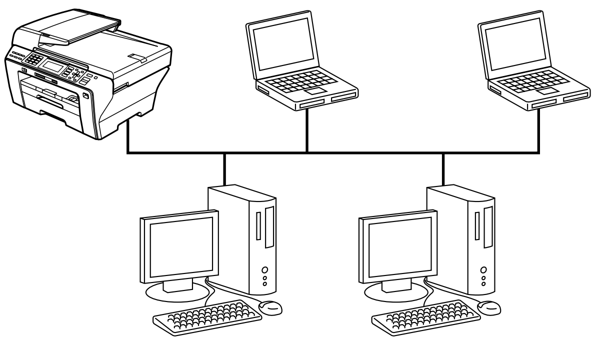
本製品はパラレルポートおよび IPP はサポートしていません。

接続方法

オートマチックドライバインストーラは、以下のネットワーク環境で使用できます。

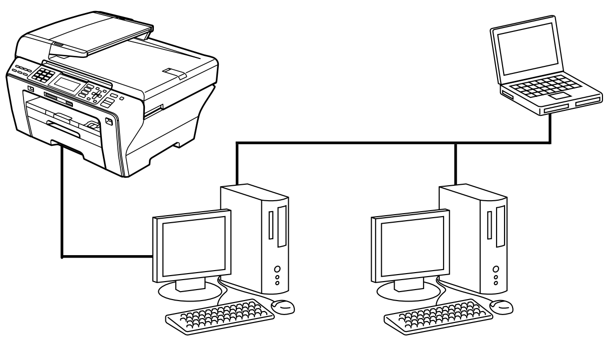
ブラザーピアツーピアネットワークプリンタ

本製品がネットワーク経由で直接パソコンと接続されている環境です。（LPR、NetBIOS など）



ネットワーク共有プリンタ

本製品が特定のパソコンまたはサーバーなどを経由してネットワーク接続している環境です。
（Windows® サーバーによる共有、Windows® クライアントによる共有など）



オートマチックドライバインストーラを使う

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 「オートマチックドライバインストーラ」を起動します。

● MFC-5890CN/6490CN/6890CN の場合

「ネットワークユーティリティ」、「オートマチックドライバインストーラ」の順にクリックします。





● その他のモデルの場合

「カスタムインストール」、「ネットワークユーティリティ」、「オートマチックドライバインストーラ」の順にクリックします。







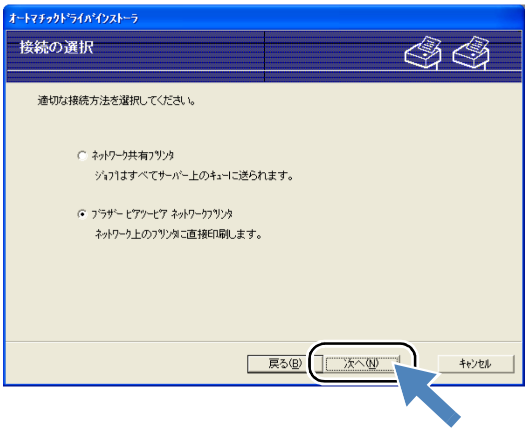
3 ［次へ］をクリックします。



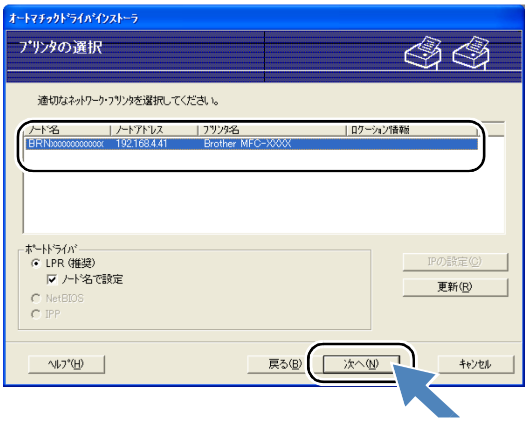
4 「MFC」を選び、［次へ］をクリックします。



5 接続方法を選び、［次へ］をクリックします。



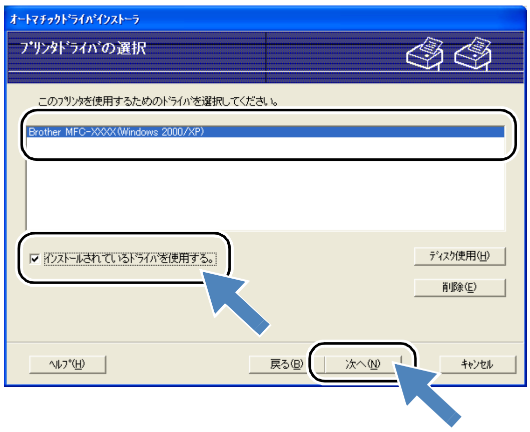
6 本製品を選び、［次へ］をクリックします。



メモ プリンタに IP アドレスが設定されていない場合は、デバイスを選択して、［IP の設定］をクリックします。表示される画面で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイのアドレスを設定します。

7 「インストールされているドライバを使用する」をオンにして表示される画面で、プリンタドライバを選び、［次へ］をクリックします。

プリンタドライバが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタドライバのある場所を指定してください。



8 内容を確認して、［完了］をクリックします。

選択したプリンタドライバがインストールされます。



メモ

プリンタドライバのインストールプログラムを作成する場合は、以下のいずれかにチェックしてください。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」

ネットワーク共有用のインストールプログラムを、ネットワークプリンタにアクセスできないユーザーが実行すると、ポートの設定が LPT1 になります。

オープンソースライセンス公開

OpenSSL について

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4.The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5.Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Part of the software embedded in this product is gSOAP software.

THE SOFTWARE IN THIS PRODUCT WAS IN PART PROVIDED BY GENIVIA INC AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO. THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANYWAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes SNMP software from WestHawk Ltd.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notices appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話 (アナログ) 回線を利用して、数 M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバ側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP （BOOTstrap Protocol ）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てることができます。サービスを実行するにはサーバもしくは、その機能を有するルータが必要です。

● DNS サーバ

Domain Name System という体系で命名されたホスト名 (ドメイン名) から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。
光ファイバーを使用すると、高速なインターネット接続や格安なひかり電話サービスを利用することができます。

IPv6
Internet Protocol Version 6 の略。現行のインターネットプロトコル（IP）IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加などの改良を施した次世代インターネットプロトコルです。IPv4 のアドレス長が 32 ビットであるのに対して、IPv6 では 4 倍の 128 ビットとなり、提供されるアドレス空間は IPv4 の 2 の 96 乗倍という広大さとなります。また、アドレスの集約化を容易にするために階層的にアドレスを割り当てるなど、アドレスアーキテクチャが変更されています。

ISDN
Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

LAN
Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるコンピュータ同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

MAC アドレス（イーサネットアドレス）
OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

mDNS（multicast DNS）
DNS サーバが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピュータがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

ping
Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

RARP
Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

SOHO
Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指します。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

TCP/IP
Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト (アプリケーション) を特定して通信路を確立するプロトコル (TCP) と、通信経路 (IP) から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4 、IP はレイヤー 3 に対応しています。

WINS
Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です。

WWW
World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

●カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット (1000BASE-T) によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略で、「より線」のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブで相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●ノード

node 。ネットワークに接続されているコンピュータなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●ルータ

ネットワーク間 (LAN と LAN 、LAN と WAN) の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT(アドレス変換) の機能があります。

無線 LAN に関する用語

IEEE802.11b 及び IEEE802.11g

IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11g は IEEE802.11b の上位互換であり、更に高速な最大 54M ビット / 秒での通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b 及び IEEE802.11g の両方の規格に対応しています。

AES

米国商務省標準技術局が定めた次世代標準暗号化方式のことです。
IEEE802.11i の暗号化方式の一つに採用されています。

AOSS^{TM}

AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

ASCII

American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

HEX

HEXADECIMAL の略。数字の 0 ～ 9 及びアルファベットの A ～ F を使用する 16 進数表示です。

MAC アドレスフィルタリング

無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は接続できなくなります。

SSID

Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN を他の無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に SSID を表示しないようにする場合もあります。(SSID の隠ぺい)

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとに暗号化キーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

WEP

Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通の暗号化キー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定した暗号化キーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

WPA-PSK

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が提唱する WPA (Wi-Fi Protected Access^{TM}) の Personal モードです。　WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP または AES 暗号化を使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。

● WPA2-PSK
次世代標準暗号化方式の「AES」を使用した強力な暗号技術を用いた承認方式の一つであり、AES暗号化キーを使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。
WPA2-PSK 対応の無線 LAN 端末であれば WPA-PSK 互換モードにより、従来から使用されている WPA 対応機器との通信もできます。

● WPS
Wi-Fi Protected Setup™ の略。Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。親機（無線 LAN アクセスポイント）も子機（本製品やパソコンなど）も WPS に対応していれば、本体のセットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。プッシュボタン方式以外には、PIN（Personal Identification Number）と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録する PIN コード方式があります。PIN コード方式は主にパソコン向けであり、プッシュボタン方式はゲーム機やプリンタなどのように入力インターフェースを持たない機器向けの仕様です。

●アドホック (Ad-hoc) 通信
無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

●インフラストラクチャ (Infrastructure) 通信
無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

●セキュリティ (Security)
無線 LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。したがって、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

●チャンネル (Channel)
無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線 LAN 内の全ての無線 LAN 端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

●ネットワーク認証
無線 LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK などがあります。

●信号強度
無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイント、または他の無線 LAN 端末から受信する電波の強さのことです。

●無線 LAN アクセスポイント（アクセスポイント）
無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN ルータとも言われています。個々の無線 LAN 端末は、ネットワークの中心にある無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。また、無線 LAN アクセスポイントはセキュリティ管理も行っています。

ネットワークの仕様

有線 LAN

項目	内容	
モデル名	NC-170h	
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP および Windows Vista® Mac OS X 10.2.4 以降	
ネットワーク	10/100 BASE-TX	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), NetBIOS/WINS,LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,DNS Resolver, mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port, LLTD responder, Web Services, SMTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH,POP3, APOP, FTP Client
	IPv6	(Turned off as defalut) NDP, RA,LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port,LLTD responder, Web Services, SMTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH,POP3, APOP, FTP Client

無線 LAN

項目	内容	
モデル名	NC-180w	
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP および Windows Vista® Mac OS X 10.2.4 以降	
ネットワーク	IEEE802.11b/g ワイヤレス	
周波数	2400 ～ 2497 MHz	
RF チャンネル	802.11b (1-14), 802.11g (1-13)	
接続モード	アドホックモード (802.11b のみ), インフラストラクチャモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	SSID (ESSID), 128 (104) / 64 (40) bit WEP, WPA-PSK (TKIP, AES), WPA2-PSK (AES)	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), NetBIOS/WINS,LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,DNS Resolver, mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port, LLTD responder, Web Services, SMTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH,POP3, APOP, FTP Client
	IPv6	(Turned off as defalut) NDP, RA,LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port,LLTD responder, Web Services, SMTP Client, POP before SMTP, SMTP-AUTH,POP3, APOP, FTP Client
電磁放射	VCCI Class B	

索　引

ひ

ふ

む

ゆ

り

る